

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

「仕事と介護の両立に関する労働者アンケート調査」

(平成24年度厚生労働省委託調査)

結果概要

<調査概要>

調査目的: 就労者における手助け・介護の実態や直面可能性、介護制度や支援制度に係る情報認識度、両立支援制度の認知状況・利用状況等の実態や職場の支援課題等の把握を目的に調査を実施した。また、離職者については、就労者と同じ設問で離職前の状況を調査するとともに、離職の背景や仕事を継続するために必要な企業の取組等を把握することも目的とする。

調査対象: 40歳代～50歳代の就労者

男性(正社員)1,000人、女性(正社員)1,000人

40歳代～50歳代の介護を機とした離職者

男性・女性(離職前は正社員) 計1,000人

調査方法: インターネット上でのモニター調査による

調査実施時期: 2013年1月

有効回答数: 就労者 2,000件、離職者 994件

＜本調査の基本枠組み＞

◎「介護」の定義

本調査でいう「介護」は、アンケート調査においては、「手助・介護」として尋ねている。「手助・介護」には、排泄や入浴等の「身体介助」、施設や遠距離での「介護」に加え、定期的な声かけ（見守り）、食事のしたくや掃除、洗濯などの家事、ちょっとした買い物やゴミ出し、通院の送迎や外出の手助け、入退院の手続きや金銭の管理などの「手助け」も含む。

◎調査内容

回答者：正社員	
就労者	離職者（離職前の状況）

×

家族関係・働き方・不安感・
介護への関わり方・相談先・勤務
先の制度利用・（離職状況）等

介護を必要とする親	
回答者の父・母	配偶者の父・母

×

身体状況・居住場所・
介護サービスの利用 等

行っている介護
排泄等の身体介護、声かけ（見守り）、家事、入退院手続き、役割分担・サービス利用の調整等 11項目

×

担い手、頻度、制度利用目的
費用負担、等

介護の担い手
回答者（あなた）、要介護者の配偶者、あなたの 配偶者、親族・地域、事業者

<目次>

1. 就労者(正社員)の介護状況
2. 現在介護をしている就労者(正社員)のプロフィール
3. 介護を必要とする父母の状況
4. 介護費用の負担状況
5. 仕事と介護の両立の不安
6. 離職者の離職状況
7. 正社員として働きながら介護をしている人の介護内容
8. 勤務先の両立支援制度の利用
9. 介護についての相談先
10. 就業継続見込みと両立のための働き方の変更希望

<参考> 介護されている父母の状況別 介護状況

(1)在宅・施設別 (2)要介護度別 (3)認知症の有無別

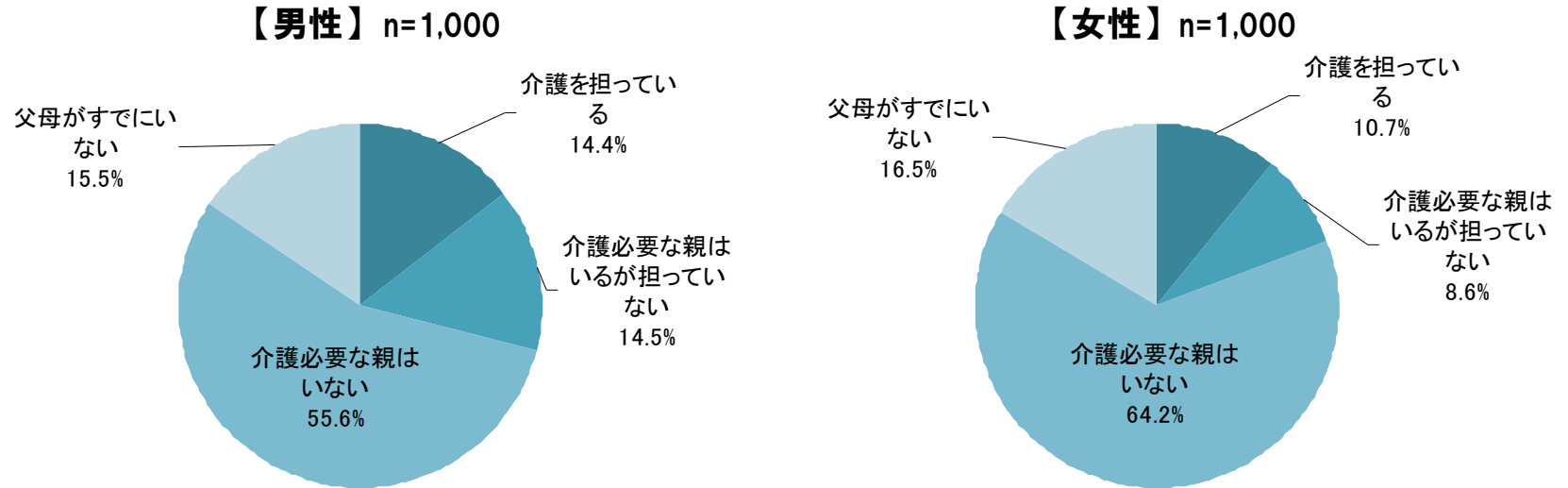
注 : 「就労者」については、現在の介護状況を聞いており、「離職者」については、介護を機に離職する前の介護状況を聞いている。

1. 就労者(正社員)の介護状況

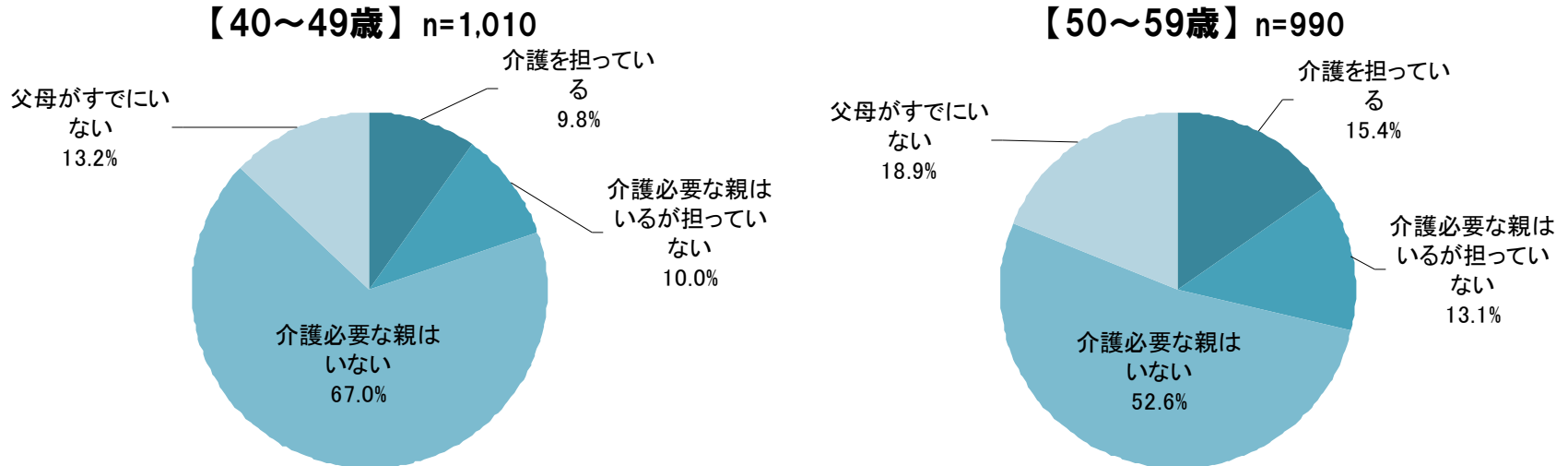
- ・ 本調査は、正社員の男女各1,000人を対象としているが、そのうち、現在実際に、自分で「介護を担っている」割合は、男性で14.4%、女性で10.7%である。「介護が必要な親はいない」割合は、男性で55.6%、女性で64.2%であり、女性の割合が高い。介護が必要な親がいる場合、女性の方が介護者となつてすでに離職している割合が高いことが考えられる。
- ・ 年代別にみると、「介護を担っている」割合は、40代では9.8%、50代では15.4%となっている。

1. 就労者(正社員)の介護状況

図表1 【就労者】男女別介護状況



図表2 【就労者】年代別介護状況



注:本調査の対象者は40～49歳。

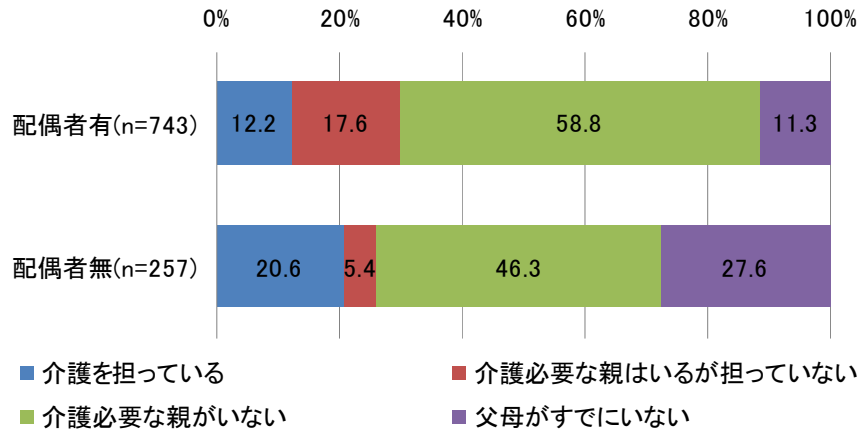
＜参考＞配偶関係による介護状況の違い

- ・ 配偶者の有無による違いをみると、「介護を担っている」割合は、男性では、配偶者のいる人では12.2%なのに対し、配偶者のいない人では20.6%と高くなっている。一方、女性では、配偶者のいる人で12.3%、いない人で9.3%と、わずかではあるが、男性とは逆の傾向がみられる。また、男女ともに、配偶者のいない人の方が「父母がすでにいない」割合が高い。
- ・ 配偶者のいる人について、さらに、配偶者の就労状況別にみると、男性では、配偶者の就労状況にかかわらず「介護を担っている」割合は一定であるが、配偶者が「就労していない」人で「介護が必要な親はいるが担っていない」割合がやや高い。女性では、配偶者が「正社員以外」で「介護が必要な親はいるが担っていない」割合がやや高い。

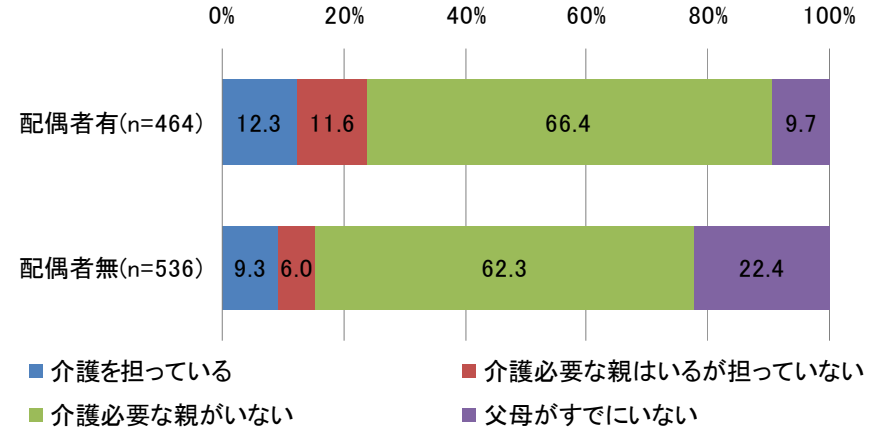
<参考> 配偶関係による介護状況の違い

図表3 【就労者】配偶者の有無別介護状況

【男性】

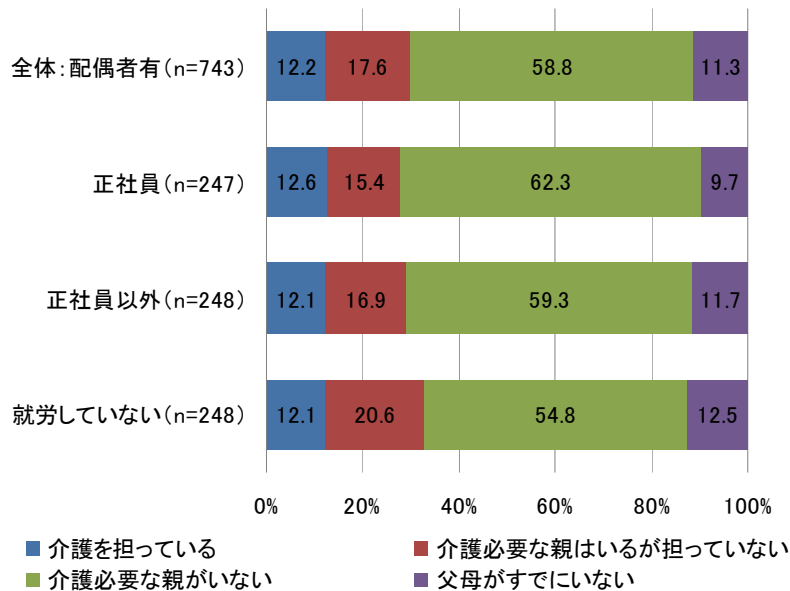


【女性】

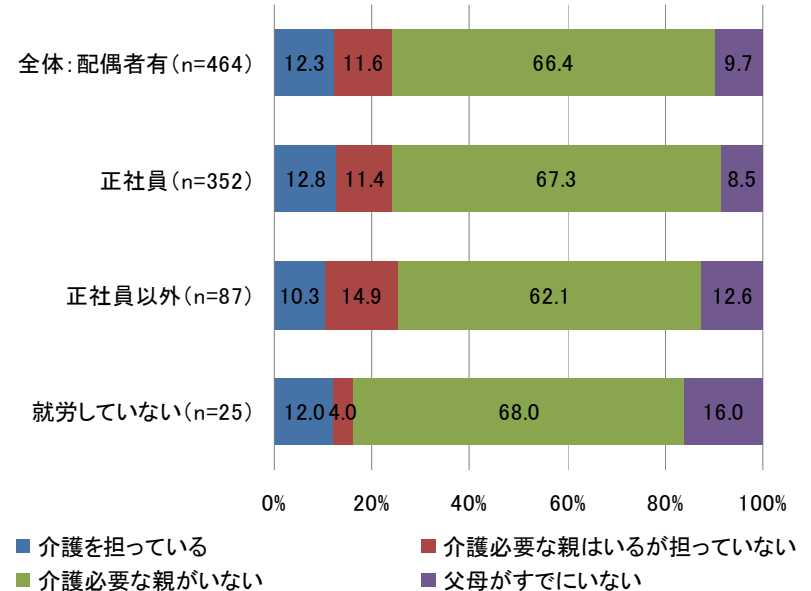


図表4 【就労者】配偶者の就労状況別介護状況

【男性】



【女性】

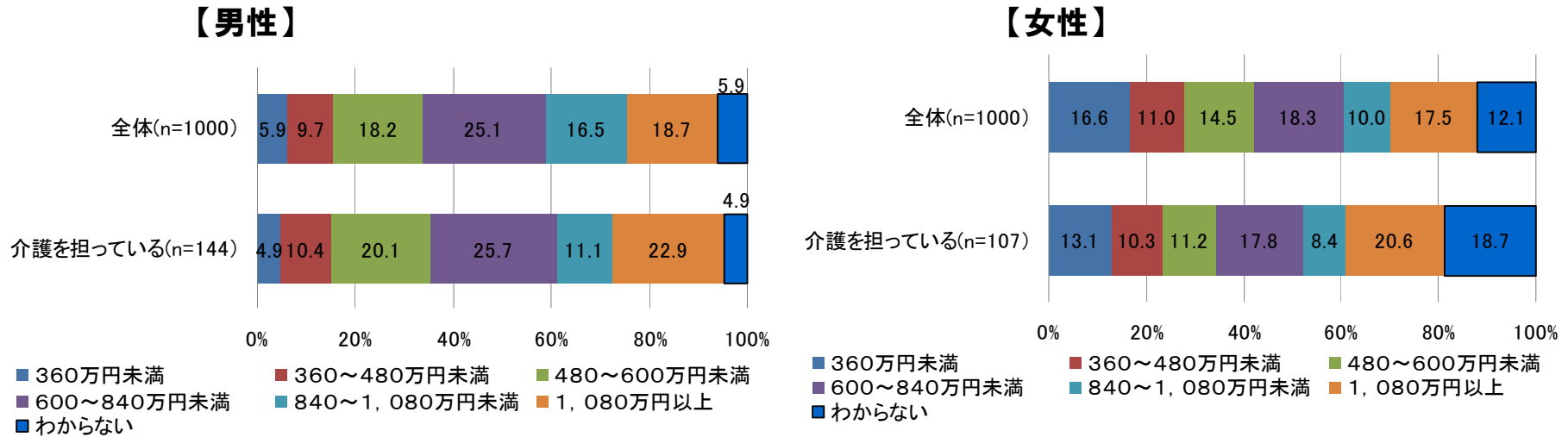


2. 現在介護をしている就労者(正社員)のプロフィール(1)

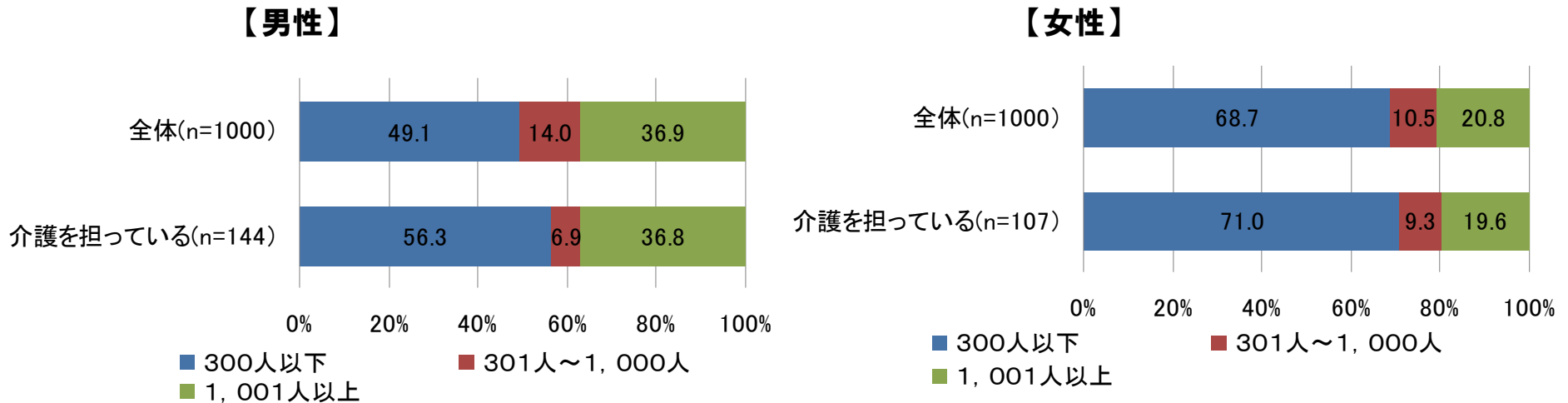
- ・ 現在、自分で介護を担っている就労者について、世帯年収の分布の特徴をみると、男性では、回答した就労者全体と比べて、ほとんど分布に差はない。女性では、「わからない」の割合がやや高い。**
- ・ 勤務先の従業員規模の分布をみると、男性では、「介護を担っている」人の方が、全体よりも、「300人以下」の割合がやや高い。女性では、分布にほとんど差はみられない。**

2. 現在介護をしている就労者(正社員)のプロフィール(1)

図表5 【就労者:介護している】世帯年収



図表6 【就労者:介護している】勤務先の従業員規模

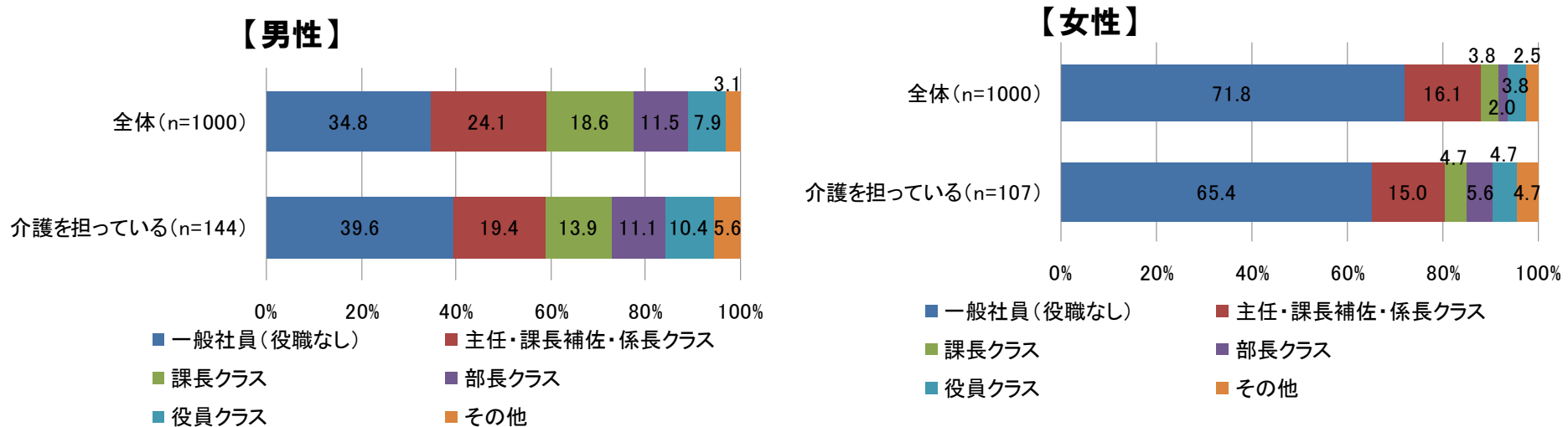


2. 現在介護をしている就労者(正社員)のプロフィール(2)

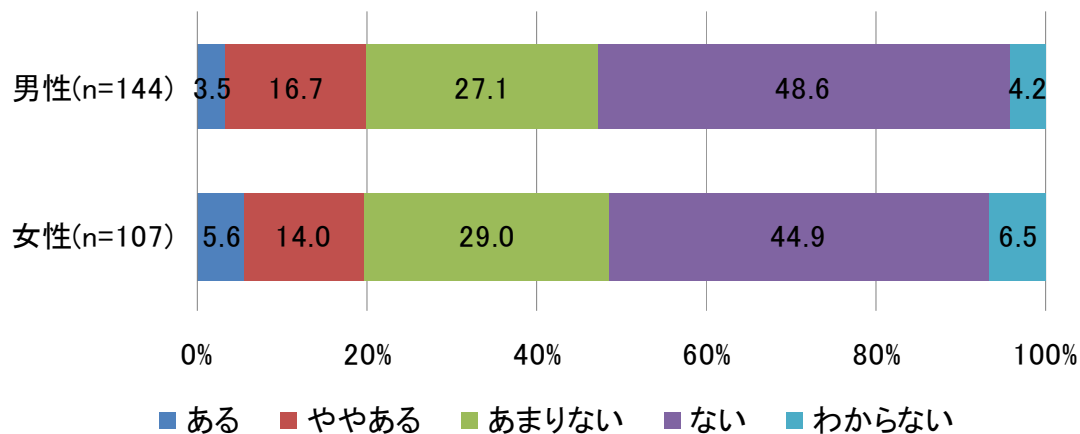
- ・ 介護を担っている男女の役職を「就労者全体」と比較すると、男性では「介護を担っている人」の方が、役職についている割合がやや低いが、女性では、「介護を担っている人」の方が、役職についている割合が高い。「介護を担っている人」の課長クラス以上の管理職・役員割合は、男性で35.4%、女性では15.0%である。
- ・ 介護している人に、「上司や同僚に介護について知られることの抵抗感」を聞いたところ、男女ともに、「あまりない」と「ない」を合わせた割合が7割を超えており、抵抗感を持つ人はそれほど多くない。

2. 現在介護をしている就労者(正社員)のプロフィール(2)

図表7 【就労者:介護している】役職



図表8 【就労者:介護している】上司や同僚に介護について知られることの抵抗感

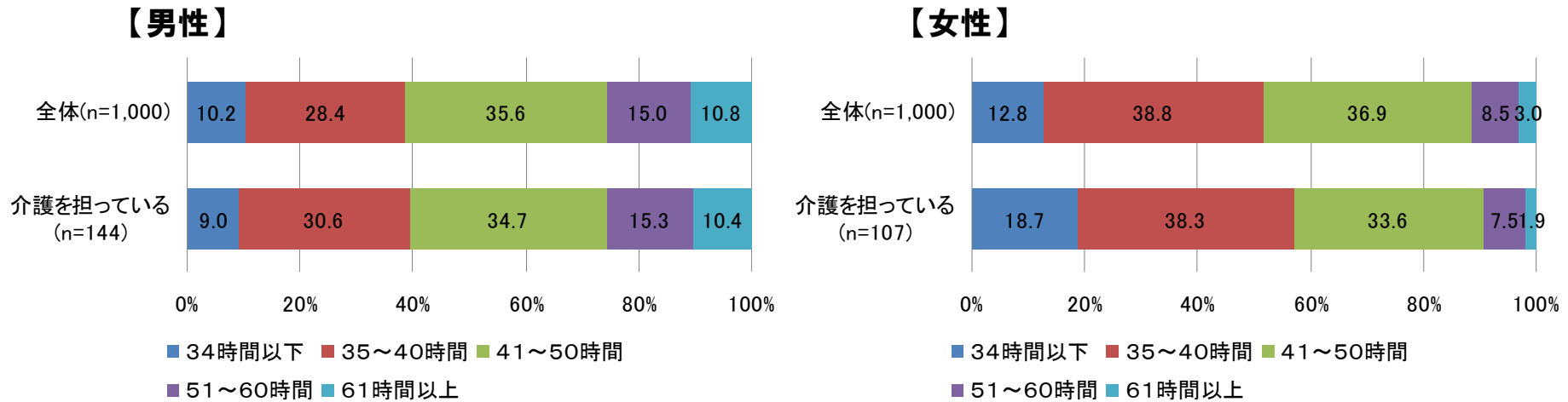


2. 現在介護をしている就労者(正社員)のプロフィール(3)

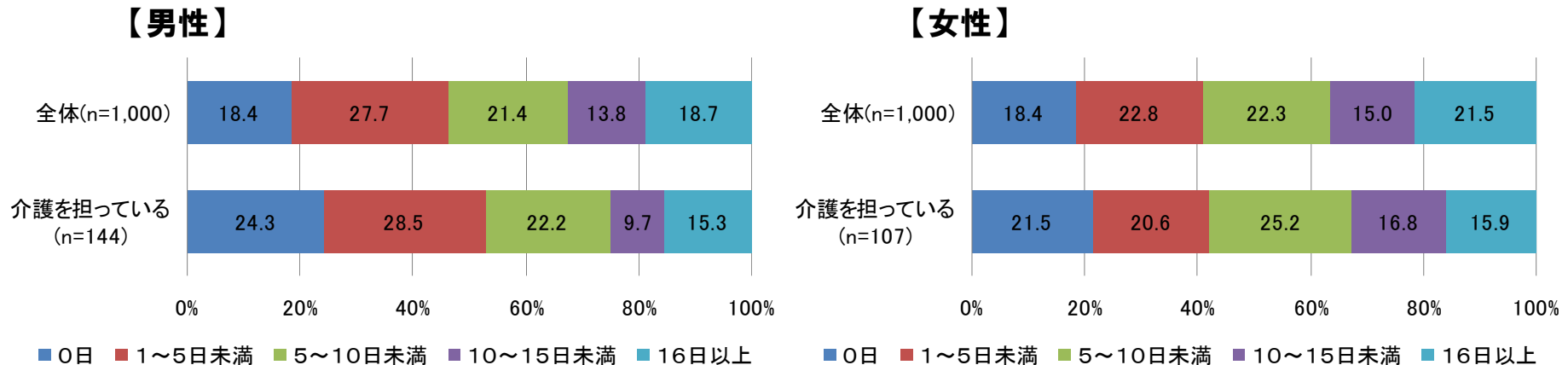
- ・ 週あたり労働時間についてみると、男性では、就労者全体と介護を担っている人の分布に差はほとんどみられないが、女性では介護を担っている人では「34時間以下」の割合がやや高い。**
- ・ 有給休暇の取得では、男女ともに、介護を担っている人の方が、全体に休暇を取得している割合が低い。いざ必要な時に備えて、休暇の取得を控えている可能性があるのではないか。**

2. 現在介護をしている就労者(正社員)のプロフィール(3)

図表9 【就労者:介護している】週当たり労働時間(残業を含む)



図表10 【就労者:介護している】直近1年間の有給休暇取得日数



3. 介護を必要とする父母の状況(1)

- ・ 回答者自身の父母と回答者の配偶者の父母の4人について、「介護が必要」な人数別に、実際に回答者が「介護している」人数をみると、介護が必要な親が1人いる人の内、男女ともに約5割が実際に介護を担っている。**
- ・ 回答者が介護している親の属性をみると、男女ともに、自分の「母」が6割以上であり、ついで自分の「父」は3割から4割と多くなっている。配偶者の父母を看ている割合は低い。**

3. 介護を必要とする父母の状況(1)

図表11 【就労者:介護を必要とする父母有】介護を必要とする父母の人数別回答者が自分で介護している父母の人数

【男性】

(件,%)

介護が必要な父母	合計	介護している人数		
		0人	1人	2人
全体	289 100.0	145 14.5	131 13.1	13 1.3
1人	241 100.0	124 51.5	117 48.5	0 0.0
2人	42 100.0	18 42.9	13 31.0	11 26.2
3人	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0
4人	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0

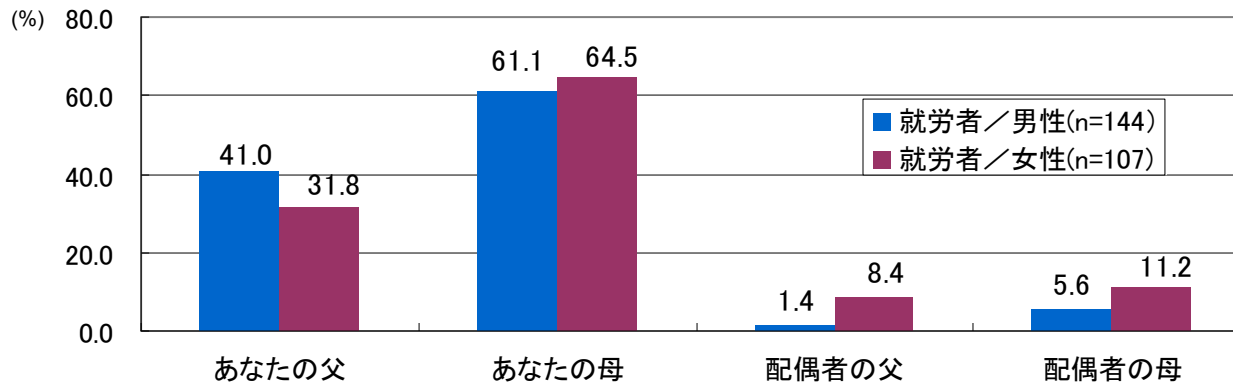
【女性】

(件,%)

介護が必要な父母	合計	介護している人数		
		0人	1人	2人
全体	193 100.0	86 8.6	90 9.0	17 1.7
1人	153 100.0	77 50.3	76 49.7	0 0.0
2人	35 100.0	8 22.9	11 31.4	16 45.7
3人	5 100.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0
4人	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

注:本調査で言う「父母」は、あなた(回答者)の父・母、配偶者の父・母。従って、最大で4人となる。

図表12 【就労者:介護している】回答者が自分で介護している父母との関係

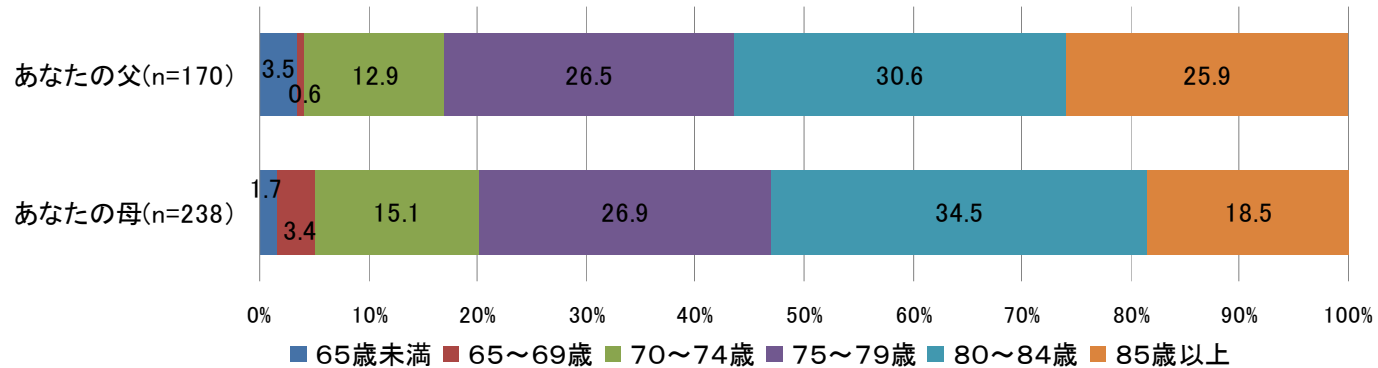


3. 介護を必要とする父母の状況(2)

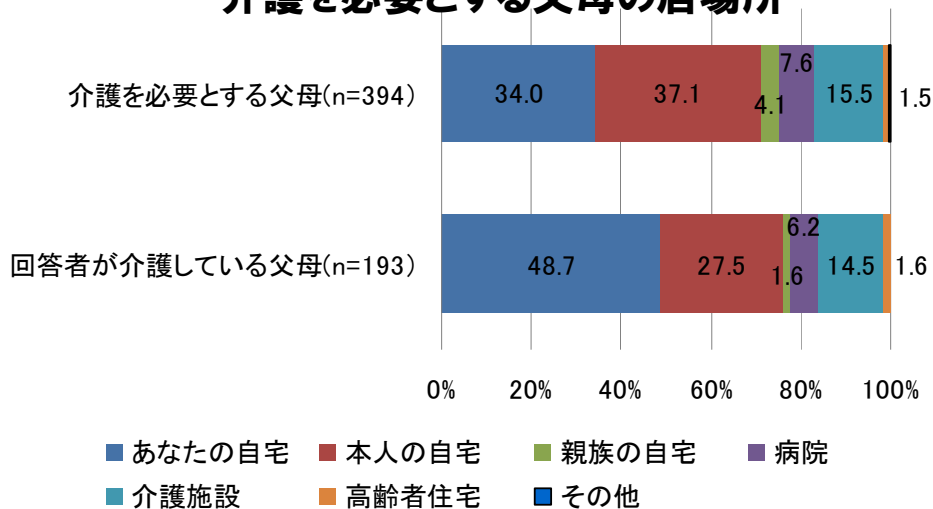
- ・ **介護を必要とする回答者自身の父母の年齢分布をみると、75歳以上の割合が「父」で83%、「母」で79.9%と8割前後を占める。**
- ・ **居住場所としては、回答者との同居割合が、「介護を必要とする父母」では34.0%、「回答者が介護している父母」では48.7%である。父母と同居している場合に自身で介護する割合が高くなるか、あるいは、別居していた父母と介護のために同居している可能性がある。**
- ・ **同居していない父母について、回答者の自宅からの距離をみると、自身で介護している親については、「片道30分未満」の割合が7割を超える。**

3. 介護を必要とする父母の状況(2)

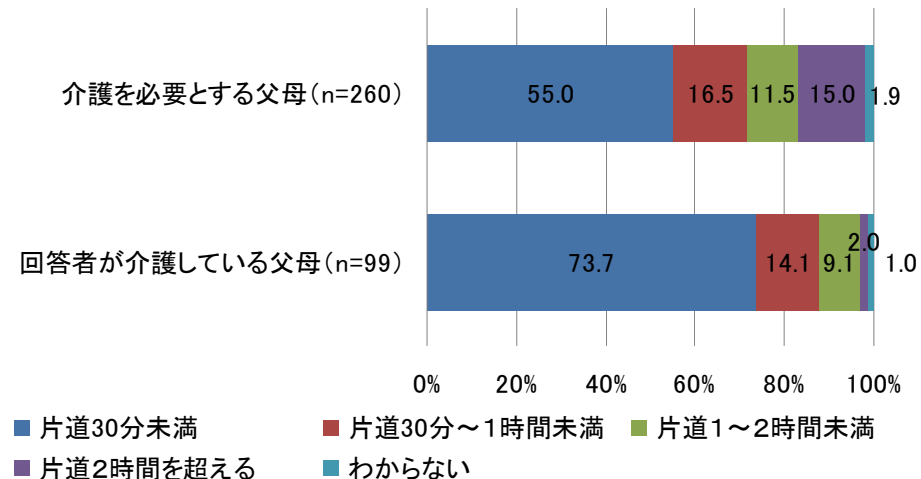
図表13 【就労者:介護を必要とする父母有り】介護を必要とする父母の年齢



図表14 【就労者:介護を必要とする父母有り】
介護を必要とする父母の居場所



図表15 【就労者:介護を必要とする父母有り】
回答者の自宅から父母の居場所までの距離



注1:「介護を必要とする父母」と、そのうち「1人の父母を介護している回答者(あなた)の父母」の状況。

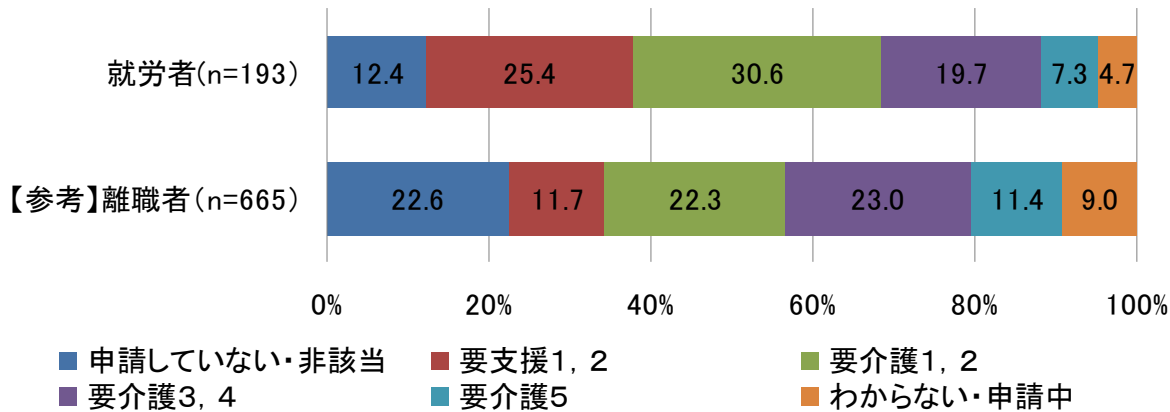
注2:「回答者の自宅から父母の居場所までの距離」は、回答者の自宅で同居している父母を含まない。

3. 介護を必要とする父母の状況(3)

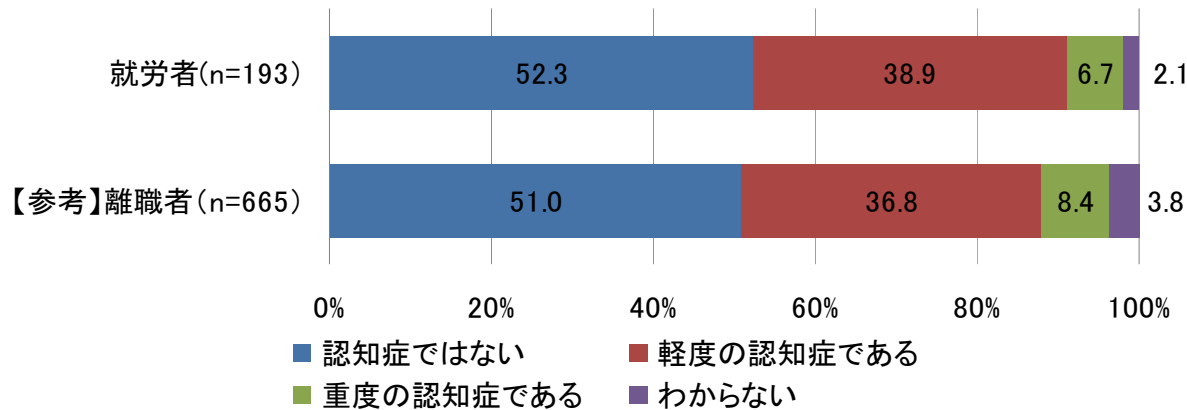
- 就労者(現在就労している回答者)が介護している父母の要介護認定状況を、離職者(介護を機に離職した回答者)が離職前に介護していた父母と比較すると、離職者は「申請していない・非該当」といった要介護度の低い父母の割合が高い一方で、要介護3以上の要介護度の高い父母の割合もやや高い。離職者の看ていた父母の方が要介護度が高かったという訳ではないことが分かる。
- 認知症の有無の分布については、就労者と離職者とで、ほとんど変わらない。

3. 介護を必要とする父母の状況(3)

図表16 【1人の父母を介護】介護している父母の要介護認定状況



図表17 【1人の父母を介護】介護している父母の認知症の有無



注1: 回答者ごとに要介護者のプロフィールを整理するため、「介護を必要とする父母が1人」で「1人の父母を介護している」回答者のみを対象として集計している。

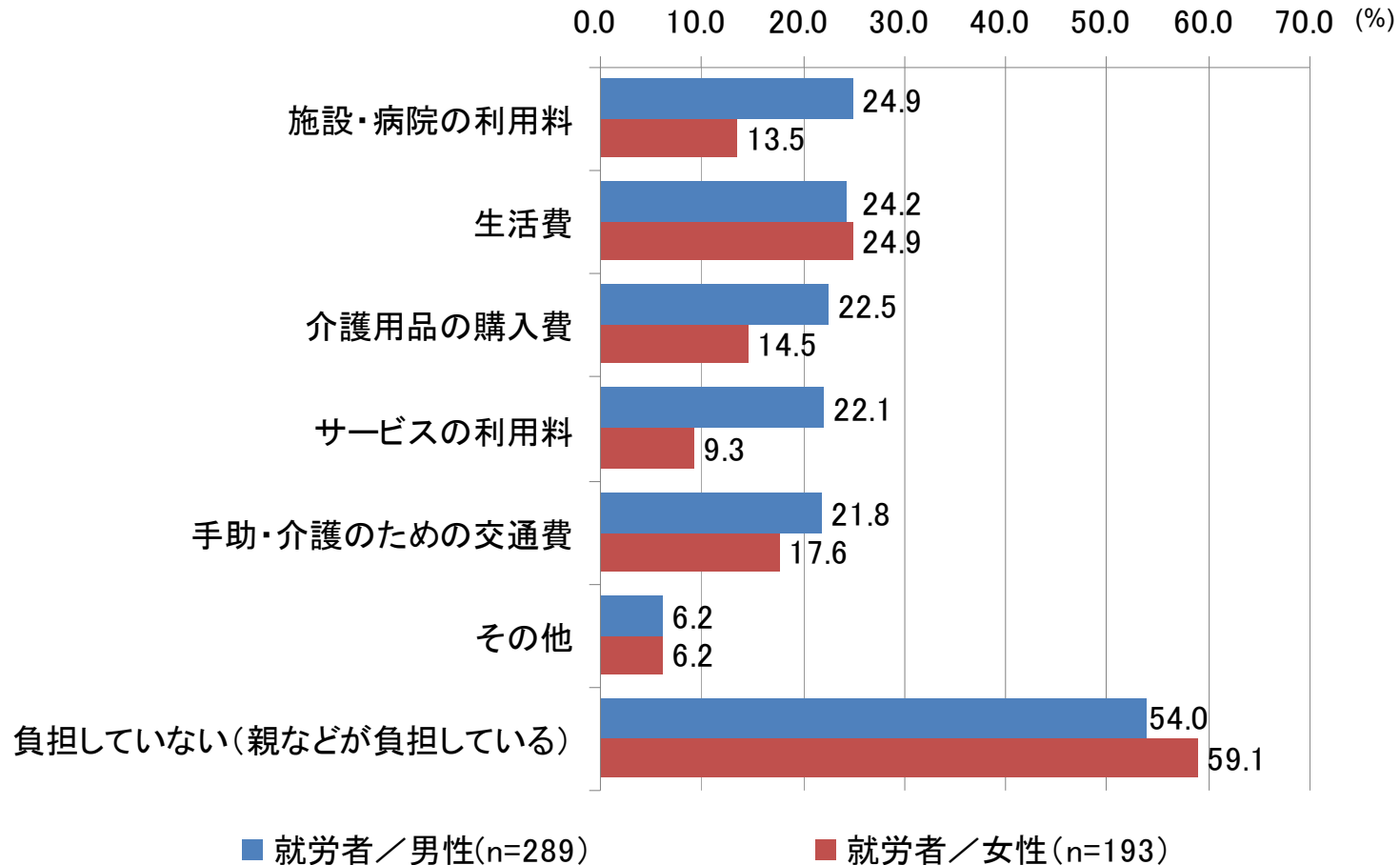
注2: 「離職者」は、離職前の介護状況について聞いている。

4. 介護費用の負担状況

- 現在働いている就労者で、介護を必要とする父母がいる人について、介護費用の負担をみると、男女ともに、「負担していない」人の割合が最も高く5割を超える。男女で比較すると、男性の方が負担している割合がやや高い。男性が負担している費目としては、「施設・病院の利用料」、「生活費」、「介護用品の購入費」、「サービスの利用料」、「交通費」がいずれも2割強を占める。

4. 介護費用の負担状況

図表18 【就労者：介護を必要とする父母有り】介護費用の負担の有無



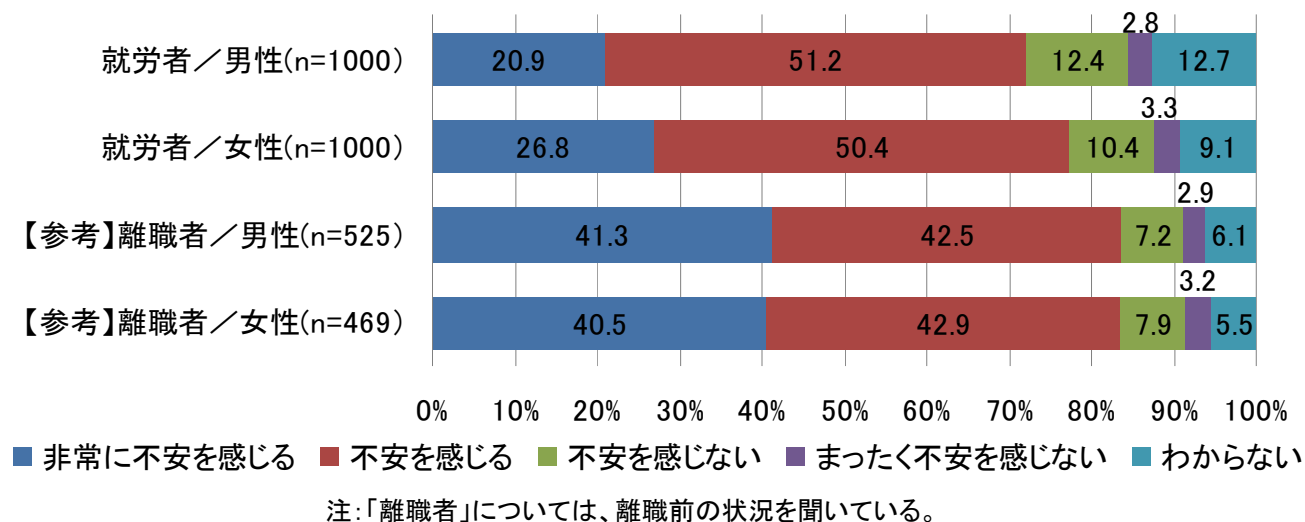
注：自分が介護している要介護者すべてにかかわる介護費用の負担状況。1人を介護している人も、複数人を介護している人も含まれる。

5. 仕事と介護の両立の不安(1)

- ・ 仕事と介護の両立について、「非常に不安を感じている」人は、就労者の男性で20.9%、女性で26.8%である。介護を機とした離職者では、男女ともに4割強が「非常に不安を感じていた」と回答している。
- ・ 就労者について、現在の介護の必要度別に不安状況を見ると、男性では「介護を担っている」人で「非常に不安」な割合が高く、「介護が必要な親はいるが担っていない」人では、やや低い。女性では、現在の介護の必要度によって不安の度合いにほとんど差はない。男性では、現在介護を担っていない場合、配偶者や姉妹等、介護を担ってくれる親族がいるため自身が担う可能性が低いと考えられている可能性がある。女性の場合は、現在介護を担っていなくても、いずれ自身が担う必要が出てくると考えている可能性がある。

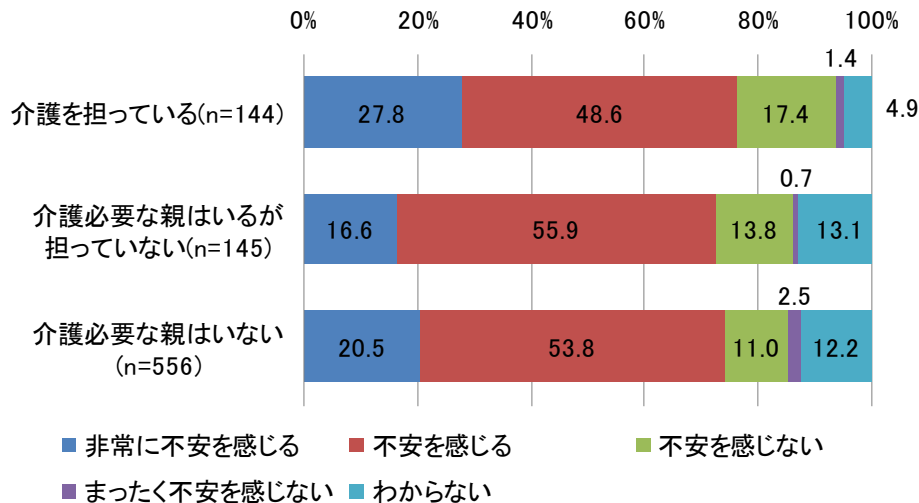
5. 仕事と介護の両立の不安(1)

図表19 仕事と介護の両立に関する不安

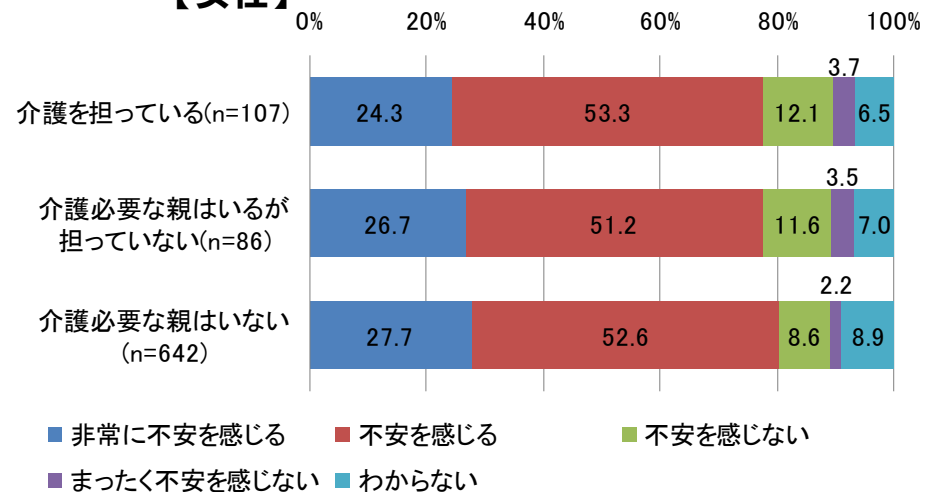


図表20 【就労者】介護役割の必要度別 仕事と介護の両立に関する不安

【男性】



【女性】



5. 仕事と介護の両立の不安(2)

- 不安を感じている人の具体的な不安内容をみると、就労者では「自分の仕事を代わってくれる人がいないこと」の回答割合が高く、特に、「介護を担っている」人で高い。

離職者では、「介護休業制度等の両立支援制度がないこと」の割合が最も高い。離職者については、数年前に離職した人も含まれることから、今よりも「介護休業」について認知されていなかった可能性もある。現在「介護が必要な親はいない」人では、介護サービスや施設、会社の両立支援制度等の活用方法がわからないことが多くなっている。

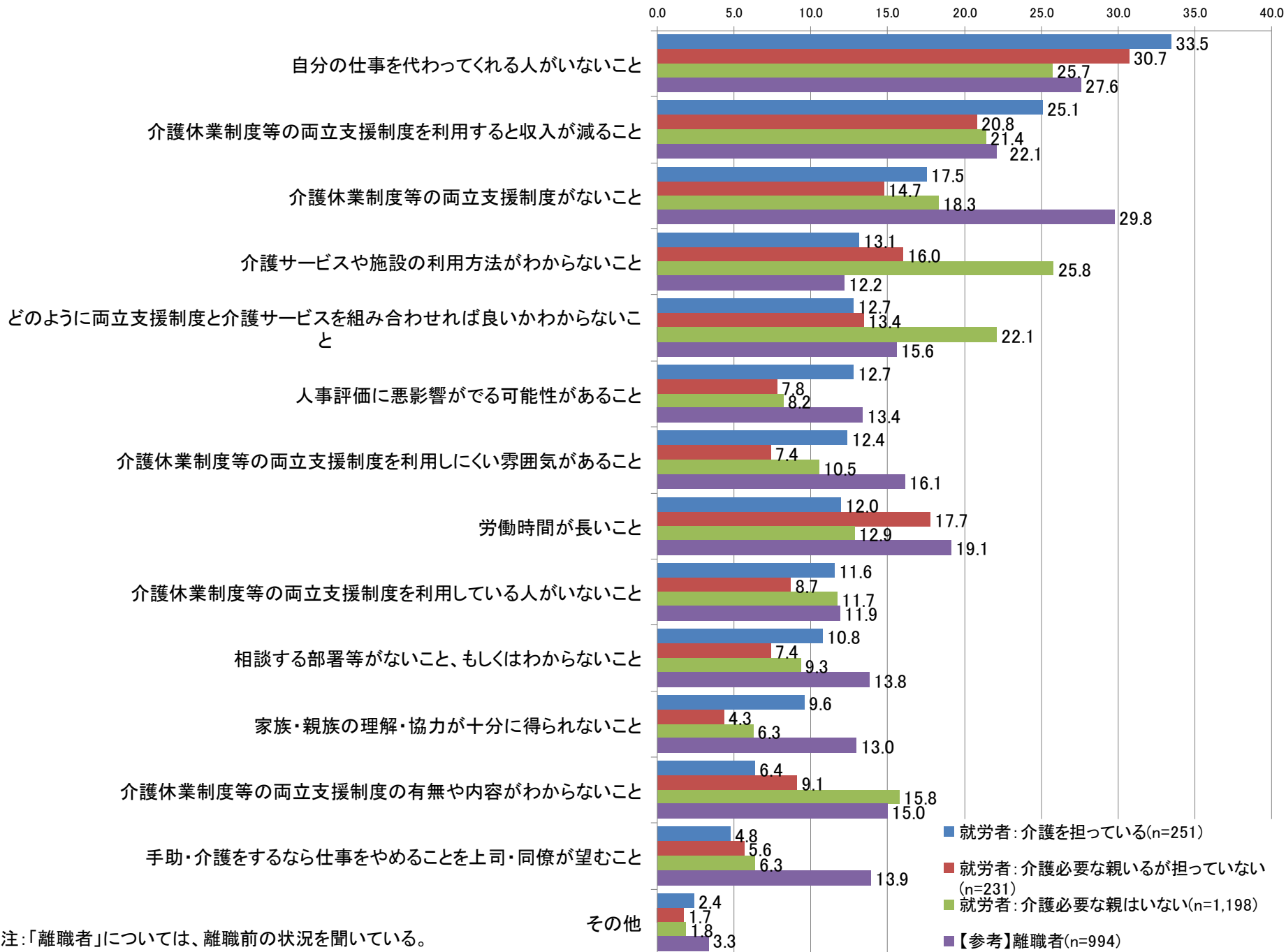
現在介護を担っている就労者と、離職者が高くなっている回答として、「人事評価に悪影響がでる可能性があること」、「介護休業制度等の両立支援制度を利用しにくい雰囲気があること」などがある。

また、「介護が必要な親はいるが担っていない」人と「離職者」で、「労働時間が長いこと」が比較的高い割合となっている。

5. 仕事と介護の両立の不安(2)

図表21 不安を感じている人の具体的な不安内容

(%)



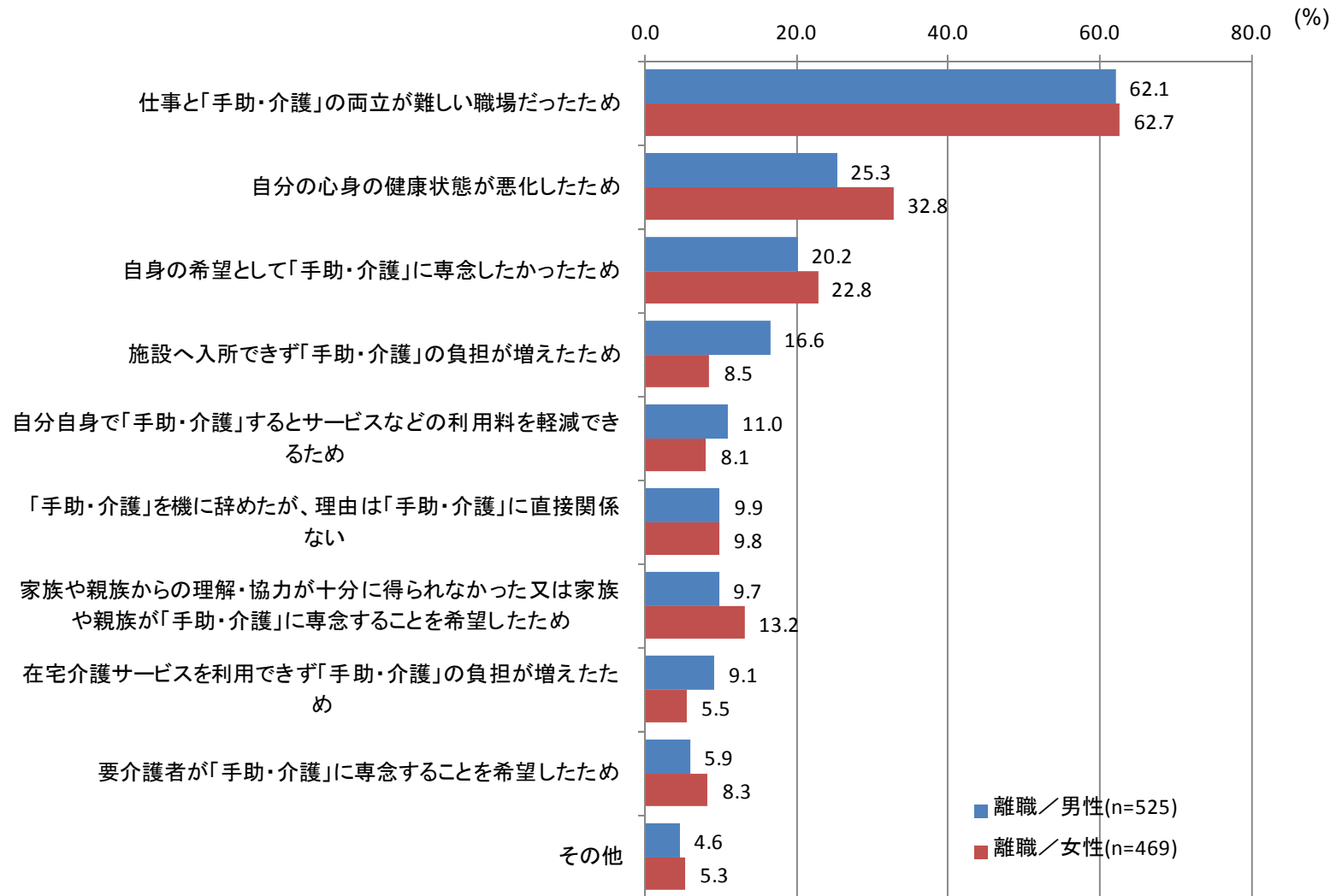
注:「離職者」については、離職前の状況を聞いている。

6. 離職者の離職状況(1)

- ・ 介護を機に離職した理由を聞いたところ、男女ともに、「仕事と手助け・介護の両立が難しい職場だったため」がもっとも多く、ついで、「自分の心身の健康状態が悪化したため」が多くなっている。**

6. 離職者の離職状況(1)

図表22 【離職者】介護を機に離職をした理由

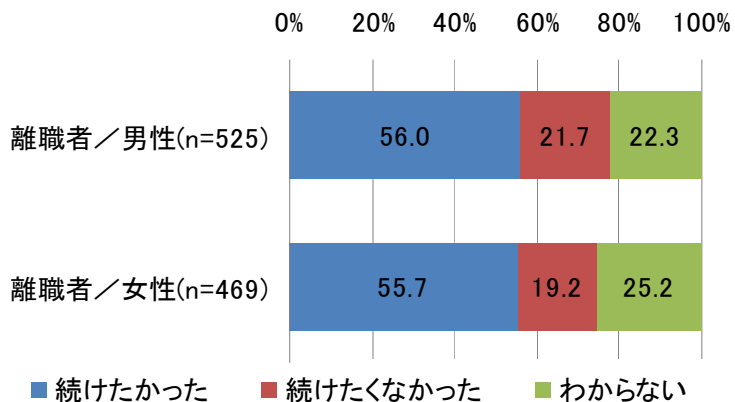


6. 離職者の離職状況(2)

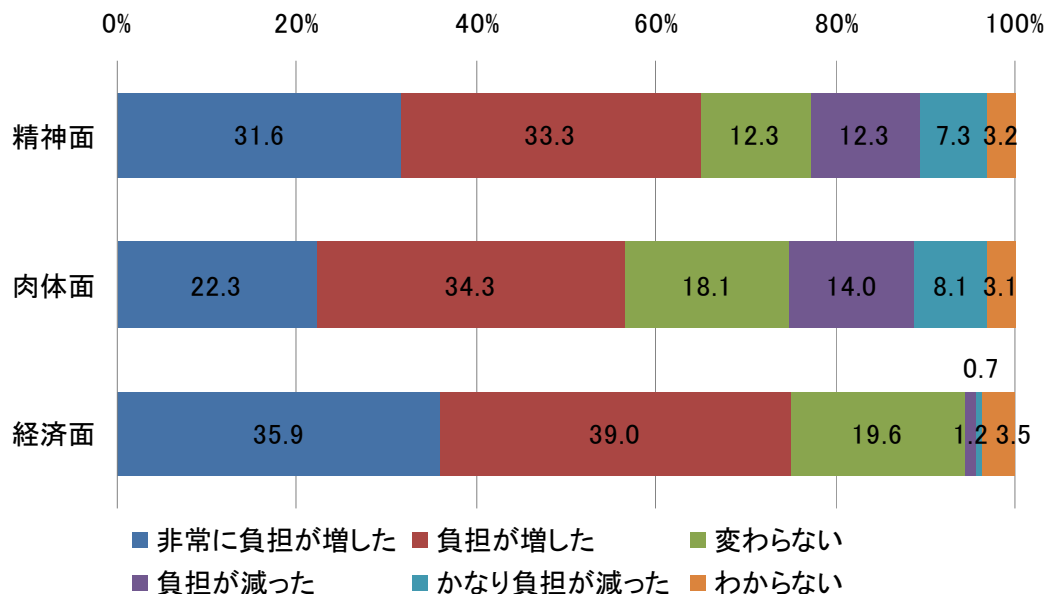
- ・ 離職時の就業継続の意向を聞いたところ、男女ともに5割強が「続けたかった」、2割前後が「続けたくなかった」とし、就業継続を希望していた人が多いことがわかる。
- ・ 離職後、「負担が増した」(「非常に負担が増した」、「負担が増した」)としている人は、「精神面」について64.9%、「肉体面」について56.6%、「経済面」について74.9%であり、いずれも負担が減るのではなく、むしろ増したとの回答割合が高い。
- ・ 離職後再就職をしていない人は、24.5%にとどまっている。離職前と同様「正社員」で再就職している人も約5割いる。
- ・ 再就職した人について、離職から再就職までの期間をみると、1年以内に再就職している割合も、男性で51.1%、女性で35.7%と少なくない。

6. 離職者の離職状況(2)

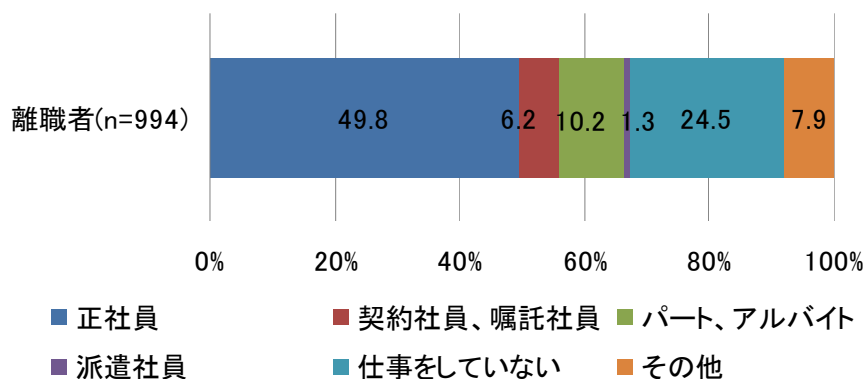
図表23 【離職者】介護を機に仕事を辞めた時の就業継続の意向



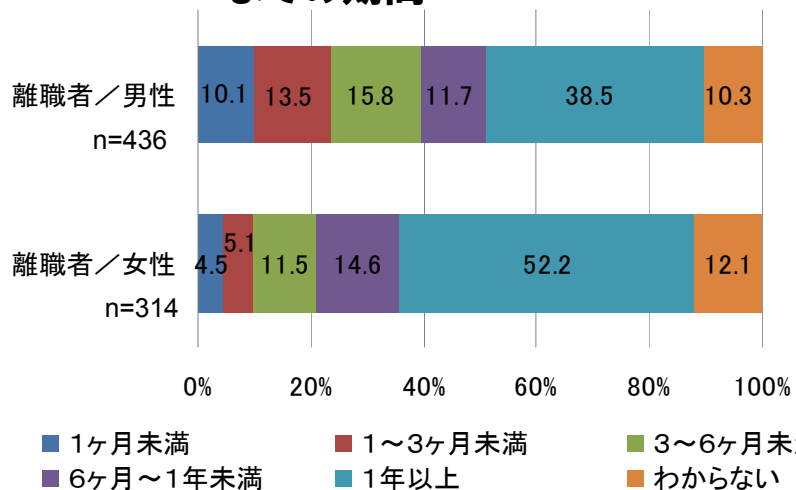
図表24 【離職者】離職後の変化 n=994



図表25 【離職者】再就職の状況



図表26 【離職者:再就職済】離職から再就職までの期間



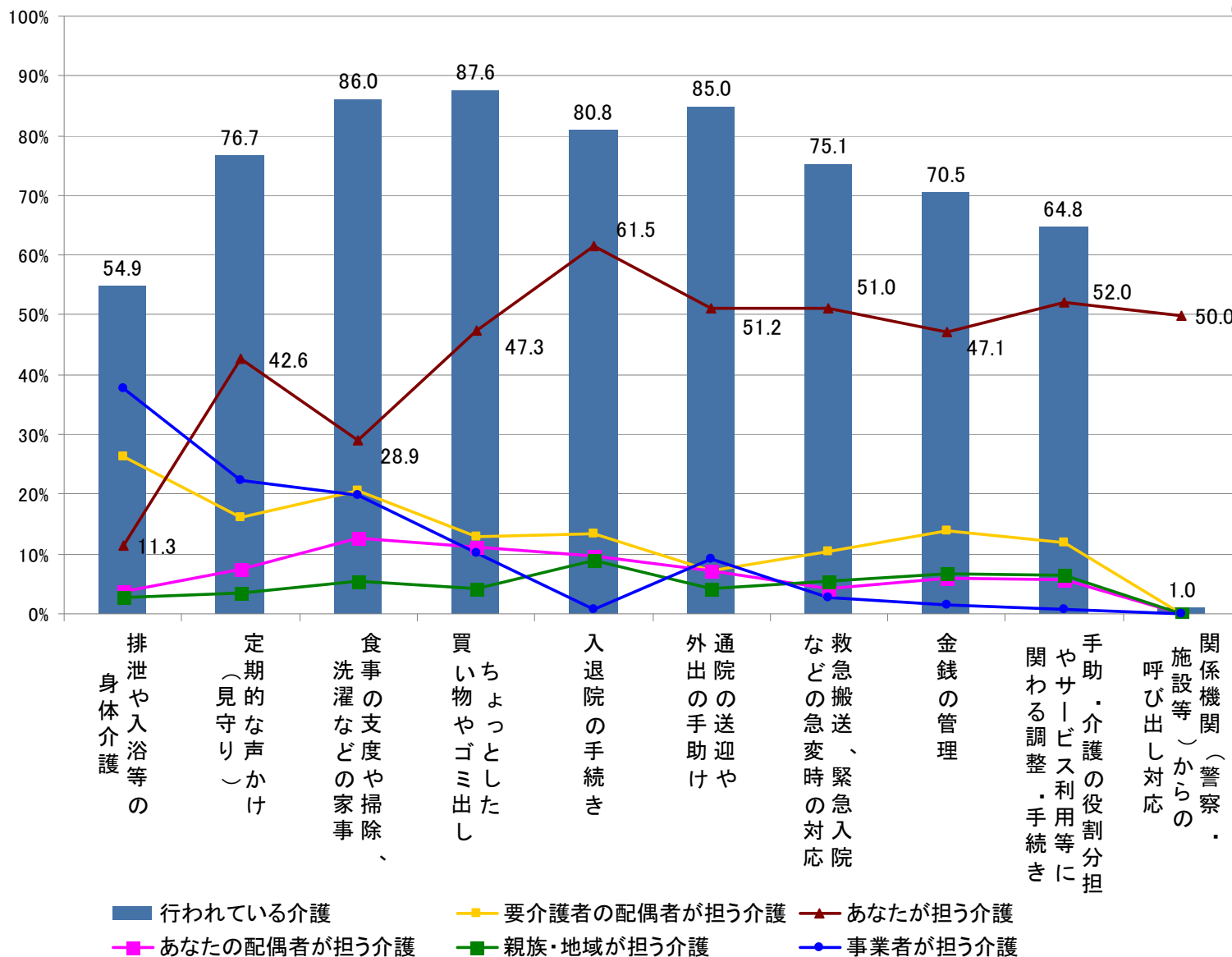
7. 正社員として働きながら介護をしている人の介護内容(1)

- ・ 就労者が介護している父母(要介護者)1人に対して、行われている介護を「排泄や入浴等の身体介護」等11の介護項目別に把握している(グラフ上は10項目のみ示している。「その他の介護」については対象者について回答がなかったため)。棒グラフで示されている「行われている介護」を100として、「あなた(回答者)」を含め、親族や事業者等が担っている割合を折れ線グラフで示している。
- ・ 「排泄や入浴等の身体介護」以外の介護項目については、「あなた(回答者)」が担っている割合が最も高い。「排泄や入浴等の身体介護」については、「事業者」や「要介護者の配偶者」が担っている割合が高い。他、要介護者の配偶者が行っている割合が比較的高い項目としては、「食事の支度や掃除、洗濯などの家事」や「定期的な声かけ」、「金銭の管理」、「役割分担やサービス利用等に関わる調整・手続き」、などがある。

7. 正社員として働きながら介護をしている人の介護内容(1)

図表27 【就労者:介護している】要介護者1人に行われている介護内容と役割分担状況

(n=193)



注1:「介護を必要とする父母が1人」で「1人の父母を介護している」回答者のみを対象として集計している。

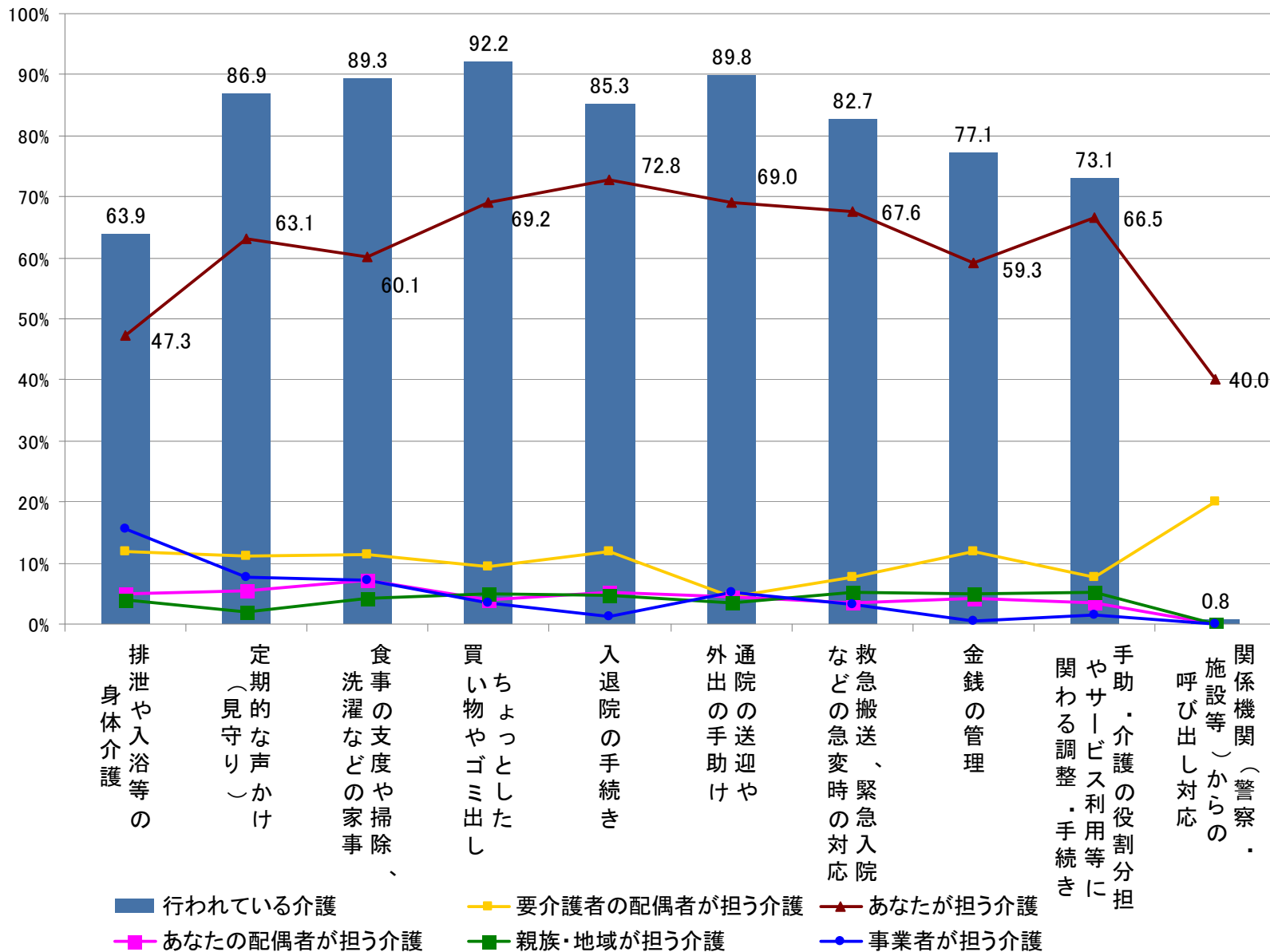
注2:各担い手の割合は、「行われている介護」を100として算出したもの。

- ・ 図表27と同じ調査項目について、離職者でみると、10の介護項目について、全体的に、「行われている介護」の割合が高い。離職者の看ている父母の要介護度や認知症の度合いは、現在の就労者と比べて特に重い傾向はみられないため、父母の身体状況以外の要因で、離職者の看ていた父母の方が介護に手をかけられていたとみられる。

また、「あなた(回答者)」自身が行っている割合も高く、排泄等の身体介護についても、他の親族や事業者の関わりが少ない。回答者が1人で介護を抱えがちであったとみられる。

図表28 【参考:離職者:介護していた】要介護者1人に行われている介護内容と役割分担状況

(n=665)



注1:「介護を必要とする父母が1人」で「1人の父母を介護している」回答者のみを対象として集計している。

注2:離職前の介護状況について聞いている。注3:各担い手の割合は、「行われている介護」を100として算出したもの。

7. 正社員として働きながら介護をしている人の介護内容(2)

- ・ 図表27、28と同じ調査項目について、11の介護項目のうち、いくつを行っているかを点数化している。要介護者について「行われている介護」全体と、「あなた(回答者)」が行っている介護と、「要介護者の配偶者」が行っている介護について、平均点で比較すると、下記の特徴がみられる。
 - ・ 就労者に比べて、離職者の方が介護項目数が多い。
 - ・ 男女では、あまり介護項目数に差はない。
 - ・ 要介護度が高くなるほど、「行われている介護」の項目数は多くなるが、「あなた(回答者)」の行う介護は、必ずしも、要介護度が高いほど多くなっていない。
 - ・ 一方、認知症については、重度化するほど「あなた(回答者)」の行う介護項目数が多くなっている。

7. 正社員として働きながら介護をしている人の介護内容(2)

図表29 【介護している】回答者と要介護者の基本属性別 要介護者1人に対して行われている介護と「あなた(回答者)」と「要介護者の配偶者」の役割

【就労者・離職者別】 ※11の介護項目のうちいくつを担っているかを示したもの。平均値。

	全体	就労者	離職者	(項目)
行われている介護	8.3	7.8	8.4	
あなたが行う介護	5.3	3.9	5.7	
要介護者の配偶者が行う介護	3.4	3.8	3.2	

【男女別】

	全体	男性	女性
行われている介護	8.3	8.3	8.2
あなたが行う介護	5.3	5.0	5.6
要介護者の配偶者が行う介護	3.4	3.3	3.5

【就労者・離職者／男女別】

	全体	就労者／男性	就労者／女性	離職者／男性	離職者／女性
行われている介護	8.3	7.9	7.6	8.4	8.4
あなたが行う介護	5.3	3.6	4.3	5.4	6.0
要介護者の配偶者が行う介護	3.4	3.7	3.9	3.1	3.4

【要介護者(介護されている父母)の要介護度別】

	全体	申請していない・非該当	要支援1, 2	要介護1, 2	要介護3, 4	要介護5	わからない・申請中
行われている介護	8.3	6.5	7.8	8.7	9.3	9.5	7.8
あなたが行う介護	5.3	4.6	5.2	5.8	5.4	5.9	4.2
要介護者の配偶者が行う介護	3.4	3.3	3.2	3.1	3.8	3.2	3.3

【要介護者(介護されている父母)の認知症の有無別】

	全体	認知症ではない	軽度の認知症である	重度の認知症である	わからない
行われている介護	8.3	7.5	9.1	9.6	7.4
あなたが行う介護	5.3	4.9	5.7	6.0	4.5
要介護者の配偶者が行う介護	3.4	3.3	3.5	3.3	3.6

注1:「介護を必要とする父母が1人」で「1人の父母を介護している」回答者のみを対象として集計している。就労者n=193, 離職者n=665

注2:「離職者」は、離職前の介護状況について聞いている。

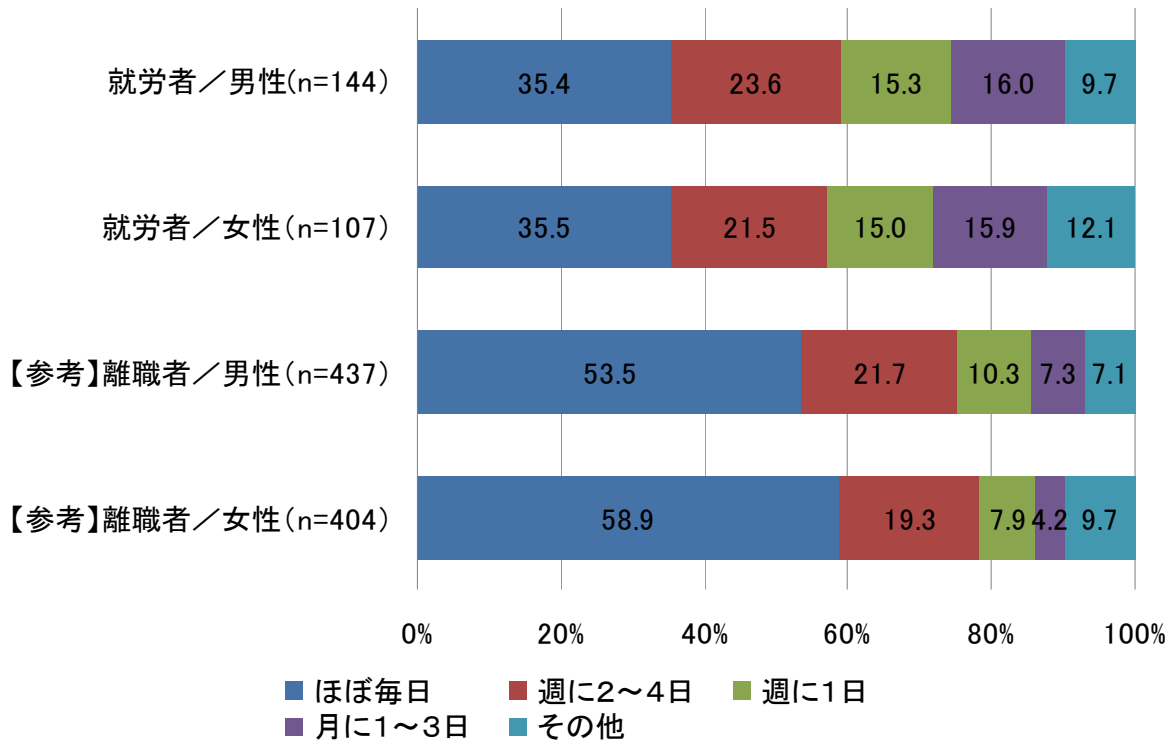
7. 正社員として働きながら介護をしている人の介護内容(3)

- ・ 介護を行っている人の介護の頻度をみると、現在働いている就労者では、「ほぼ毎日」介護している人の割合が、男性で35.4%、女性で35.5%である。介護の頻度について、男女差はほとんどない。

退職した人でみると、「ほぼ毎日」介護していた人が、男性で53.5%、女性で58.9%と、就労者に比べて高い割合となっている。

7. 正社員として働きながら介護をしている人の介護内容(3)

図表30 【介護している】介護を行っている頻度



注1: 自分が介護している要介護者すべてにかかわる介護の頻度。1人を介護している人も、複数を介護している人も含まれる。

注2: 「離職者」は、離職前の介護状況について聞いている。

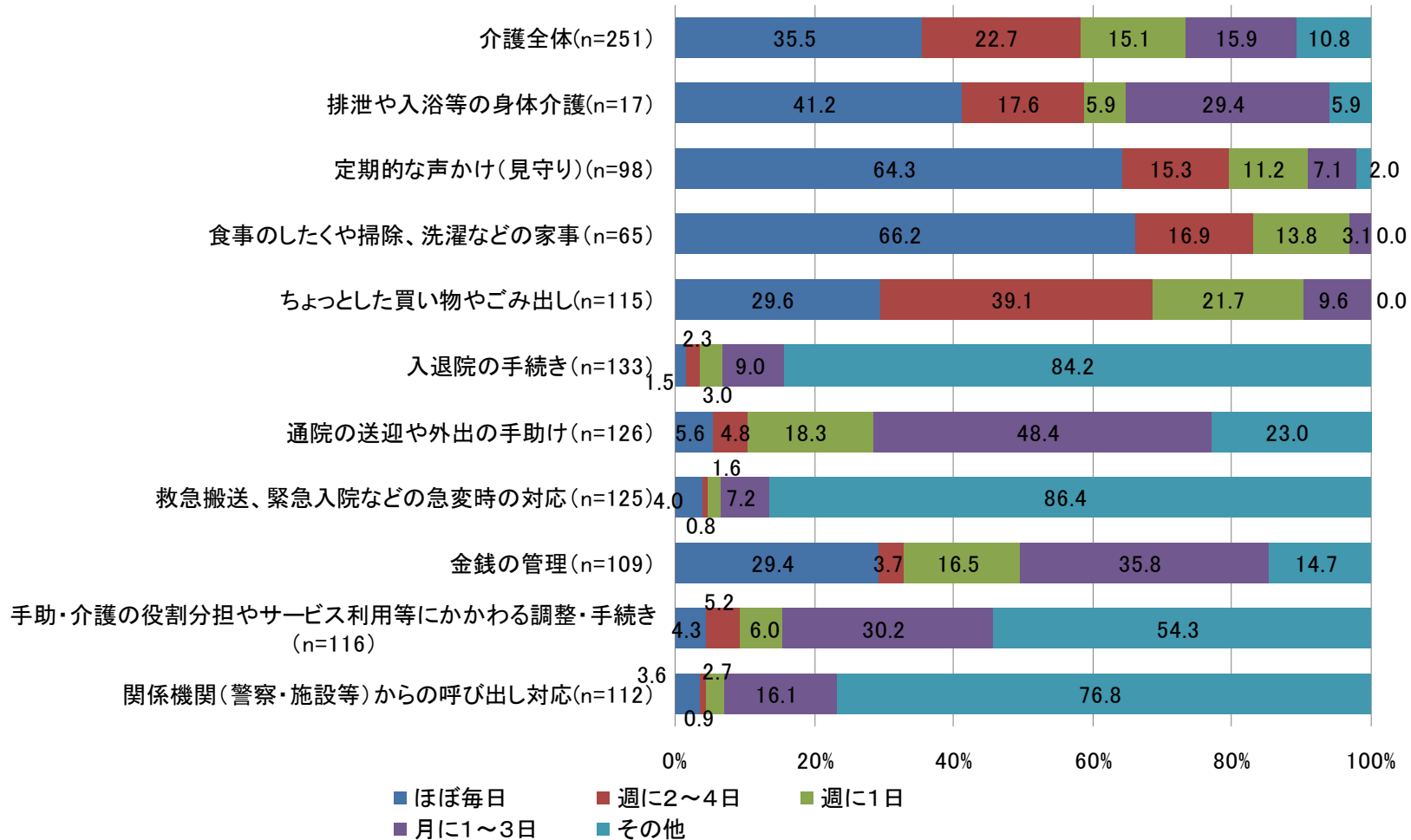
注3: 様々な介護項目に関してトータルでどれくらい介護しているかを聞いたもの。

7. 正社員として働きながら介護をしている人の介護内容(4)

- 就労者の介護の頻度を介護項目別にみると、「定期的な声かけ」や「家事」については、「ほぼ毎日」行っている人が6割を超える。「排泄等の身体介護」は約4割、「買い物やごみ出し」、「金銭の管理」が約3割で、このあたりの介護項目は、介護の頻度が比較的高い。「入退院の手続き」や「急変時の対応」、「関係機関からの呼び出し対応」は、「その他」と回答されており、定期的な頻度が高い訳ではなく、突発的な対応が求められる介護である。

7. 正社員として働きながら介護をしている人の介護内容(4)

図表31 【就労者:介護している】行っている介護項目別介護を行っている頻度



注1: 自分が介護している要介護者すべてにかかわる介護の頻度。1人を介護している人も、複数人を介護している人も含まれる。

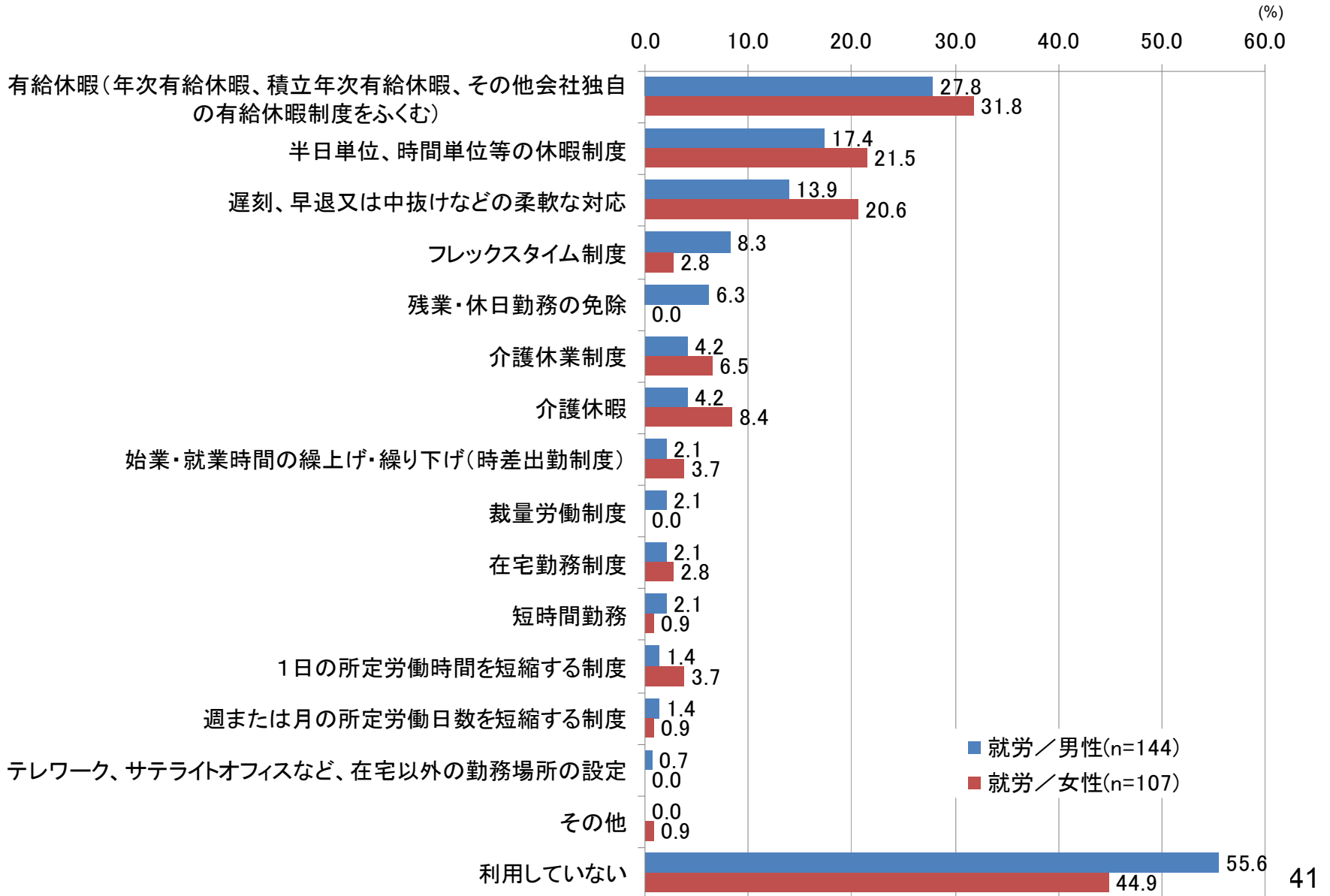
注2: 介護している人によって、行っている介護行為の数が異なるため、n値が異なる。

8. 勤務先の両立支援制度の利用(1)

- ・ 介護をしている就労者が利用したことのある勤務先の制度を聞いたところ、「利用していない」という人が男女ともに最も多い。利用した制度としては、「有給休暇」の割合が最も高く、男性で27.8%、女性で31.8%となっている。他に、「半日単位、時間単位等の休暇制度」、「遅刻、早退又は中抜けなどの柔軟な対応」が比較的に利用されている。女性の方が制度の利用割合は高めだが、男性では、「フレックスタイム制度」、「残業・休日勤務の免除」が女性よりも利用されている。「介護休業制度」の利用割合は、男性で4.2%、女性で6.5%である。

8. 勤務先の両立支援制度の利用(1)

図表32 【就労者:介護している】手助・介護のために利用した勤務先の制度

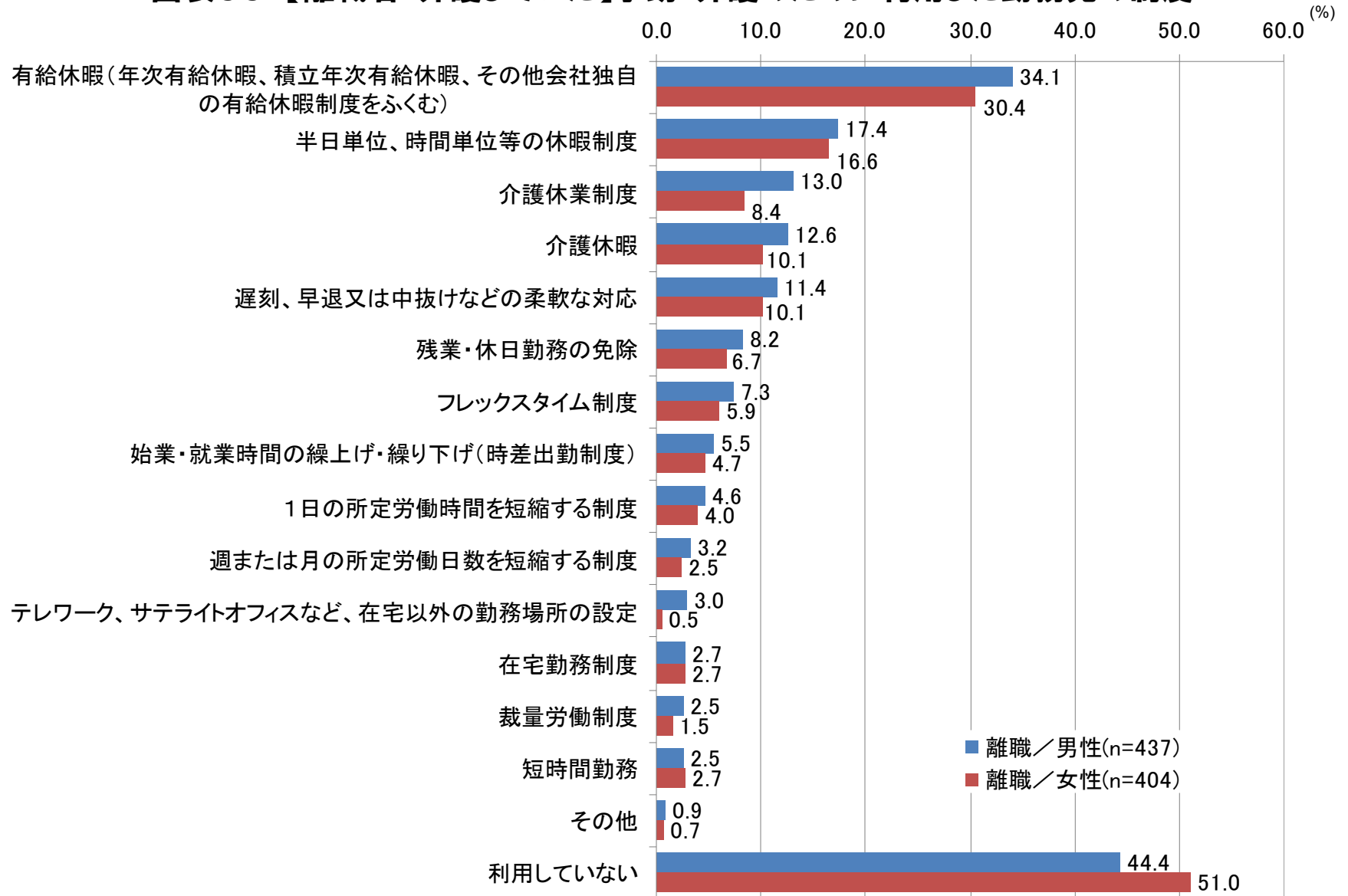


8. 勤務先の両立支援制度の利用(2)

- ・ 離職者が離職前に利用した勤務先の制度をみると、就労者よりも何らかの制度を利用している割合が高い。全般に、女性よりも男性で利用割合が高い。「介護休業制度」の利用率は、男性で13.0%、女性で8.4%である。**

8. 勤務先の両立支援制度の利用(2)

図表33 【離職者:介護していた】手助・介護のために利用した勤務先の制度



注: 離職前の状況について聞いている。

8. 勤務先の両立支援制度の利用(3)

- ・ 1年間の介護休業制度の利用日数をみると、就労者、離職者ともに、年間合計でも「7日以内」が最も多い。法定の93日を超えて、94日以上利用しているのは、離職者の1人のみである。1回での連続した取得でみるとさらに短く、「5日以内」が就労者で8割を超えている。週休2日と合わせて、1週間の連続で利用する人が多いとみられる。(ただし、就労者では、介護休業の利用者が全部で13人しかいないことに留意が必要である。)
- ・ 就労者と離職者を合わせた介護休業制度の利用者104人について、制度を利用したことで業務上の役割が変化したかを聞いたところ、104人全体では約8割が「変わらない」としている。「わからない」と回答した人も1割おり、本人がわからないということが不安につながっている可能性もある。介護休業の利用期間別にみると、1ヶ月(31日)を超えて利用している8人についてみると、そのうち3人は「変わった」と答えている。期間が長くなれば、当然のことながら、変わっている可能性が高い。

8. 勤務先の両立支援制度の利用(3)

図表34 【介護休業制度利用者】介護休業制度の利用状況(過去1年間)

※離職者は離職前の1年間

【年間合計利用日数】

(件,%)

	全体	1～7日以内	8～31日以内	32～93日以内	94日以上
就労者	13 100.0	9 69.2	3 23.1	1 7.7	0 0.0
離職者	91 100.0	64 70.3	20 22.0	6 6.6	1 1.1

【休業1回あたりの連続利用日数(最長利用日数)】

(件,%)

	全体	1～5日	6～10日	11日～15日	16日以上
就労者	13 100.0	11 84.6	0 0.0	1 7.7	1 7.7
離職者	91 100.0	70 76.9	7 7.7	3 3.3	11 12.1

注:「就労者」の介護休業利用者は13人とn値が極めて小さいことに留意。

図表35 【介護休業制度利用者】介護休業利用期間別 制度利用後の業務上の変化

(件,%)

	合計	制度利用後の業務上の役割の変化		
		変わった	変わらない	わからない
全体(介護休業制度利用)	104 100.0	7 6.7	86 82.7	11 10.6
1～7日以内	73 100.0	4 5.5	60 82.2	9 12.3
8～31日以内	23 100.0	0 0.0	22 95.7	1 4.3
32～93日以内	7 100.0	2 28.6	4 57.1	1 14.3
94日以上	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0

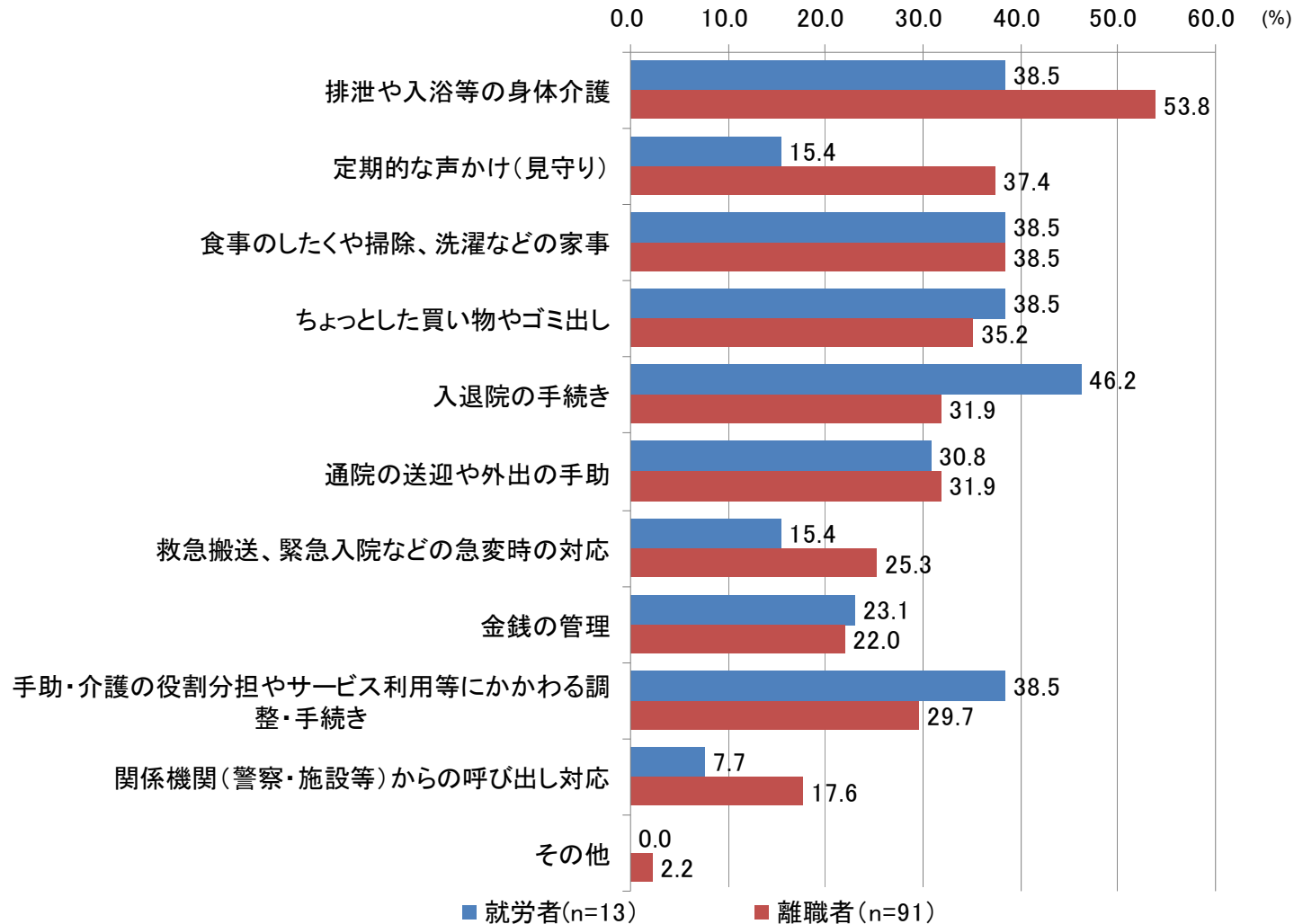
注:利用期間は、「年間合計利用日数」。

8. 勤務先の両立支援制度の利用(4)

- 介護休業制度の利用目的については、就労者では、「入退院の手続き」が最も多く、ついで「役割分担やサービス利用等にかかわる調整・手続き」、「排泄や入浴等の身体介護」の割合が高くなっている。離職者では、就労者に比べて、「排泄や入浴等の身体介護」や「定期的な声かけ」など、自身が直接的な介護や見守りを行うことに利用している割合が高い。限られた休業期間をどのように活用するのかに、就労者と離職者の違いがみられる。

8. 勤務先の両立支援制度の利用(4)

図表36 【介護休業制度利用者】介護休業制度の利用目的



注1:「就労者」の介護休業利用者は13人とn値が極めて小さいことに留意。

注2:「離職者」は、離職前の状況について聞いている。

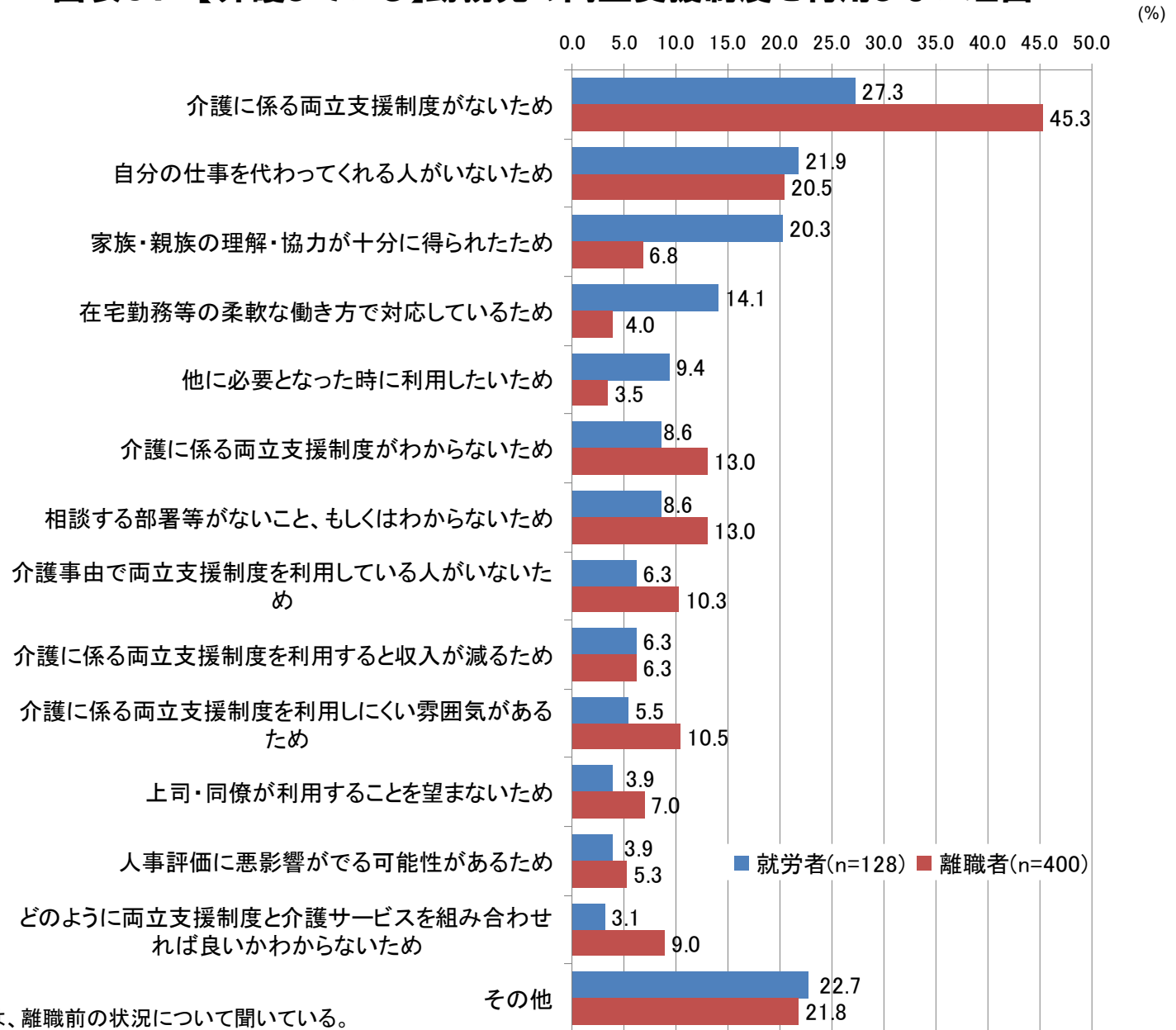
8. 勤務先の両立支援制度の利用(5)

- ・ 両立支援制度を利用していない人に、その理由を聞いたところ、就労者・離職者ともに、「介護に係る両立支援制度がないため」との回答が最も高く、特に、離職者で高い割合となっている。制度がない、というよりも、あることが知られていないためと考えられる。就労者では、「家族・親族等の理解・協力が十分に得られるため」や「在宅勤務等の柔軟な働き方で対応しているため」という良い意味で利用しなくて済んでいる、という回答割合が、離職者に比べて高い。一方で、「他に必要となったときに利用したいため」という回答も離職者よりも高く、休暇等の取得を控えている可能性がある。

離職者では、他に、「制度がわからない」、「相談する部署がない、わからない」、「制度を利用しにくい雰囲気がある」等、社内の制度利用環境が整っていないことを理由にあげる割合が高い。

8. 勤務先の両立支援制度の利用(5)

図表37 【介護している】勤務先の両立支援制度を利用しない理由



注:「離職者」は、離職前の状況について聞いている。

9. 介護についての相談先

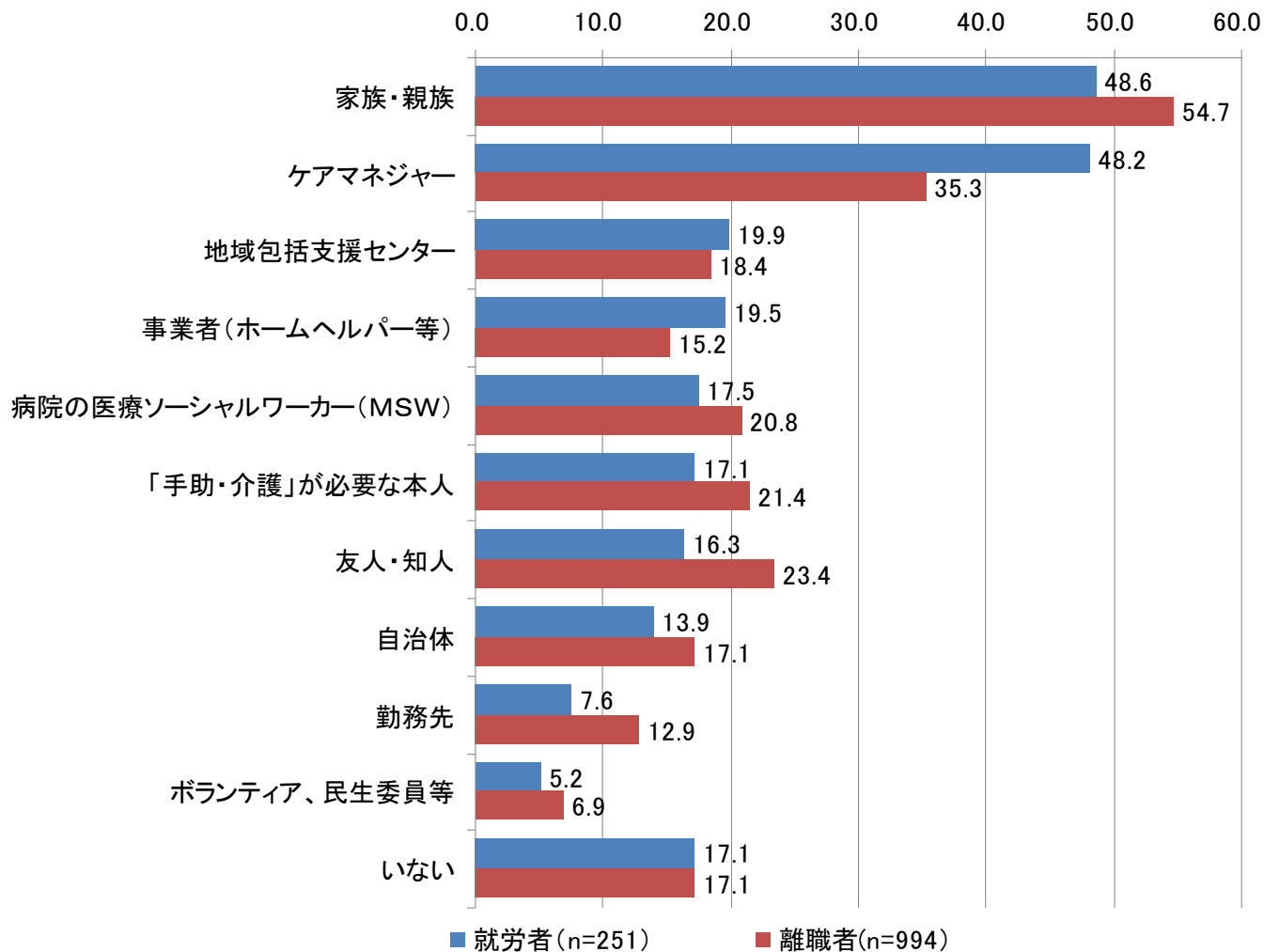
- ・ 介護について相談した人としては、就労者・離職者ともに「家族・親族」が最も多い。ついで、「ケアマネジャー」が多くなっている。特に、就労者では、離職者よりも「ケアマネジャー」の割合が高い。離職者では、「介護が必要な本人」、「友人・知人」など、身内の割合も高い。

勤務先への相談は、就労者で7.6%、離職者で12.9%といずれも低い。職場で、介護について知られることについての抵抗感は低かったことから、勤務先で相談をしないのは、知られたくないからではなく、相談先としての有効性について認知が低いなどの理由があるのではないか。

9. 介護についての相談先

図表38 【介護している】介護について相談した人

(%)



注1: 自分が介護している要介護者すべてにかかわる相談。1人を介護している人も、複数人を介護している人も含まれる。

注2: 「離職者」は、離職前の状況について聞いている。

10. 就業継続見込みと両立のための働き方の変更希望(1)

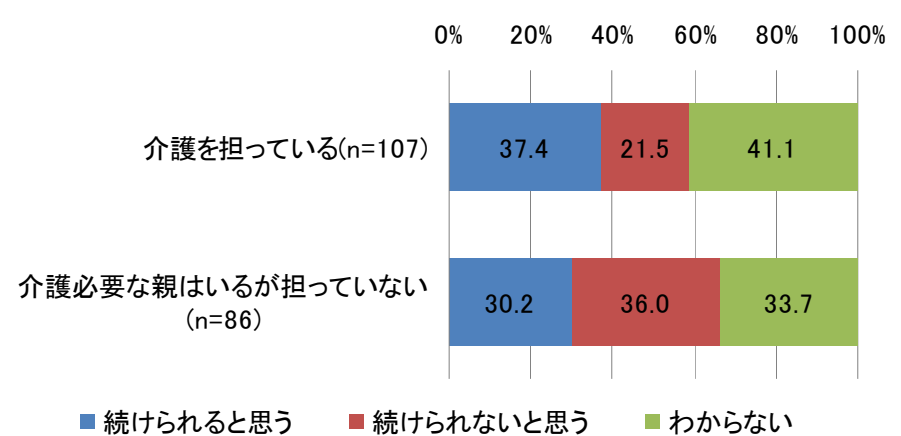
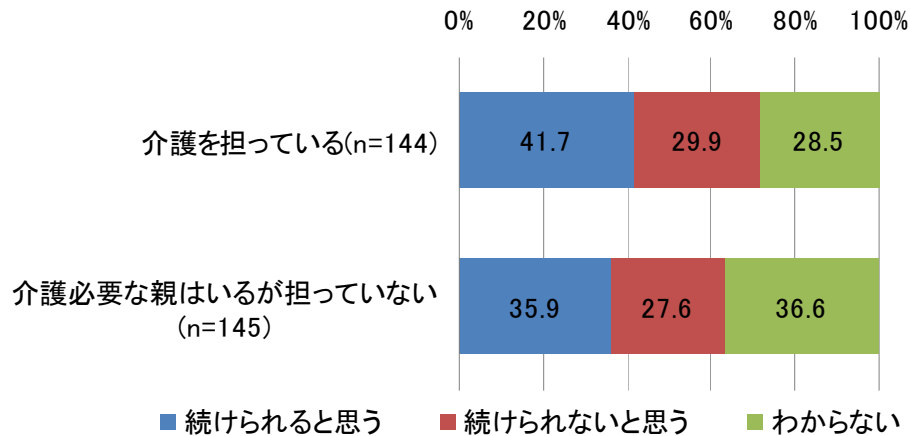
- ・ 現在働いている就労者で、介護を必要とする親がいる人に、仕事と介護を両立した就業継続の見込みを聞いたところ、「続けられる」と回答したのは、「介護が必要な親はいるが担っていない」人で男性35.9%、女性30.2%、現在「介護を担っている」人で男性41.7%、女性37.4%である。現在介護をしていない人の方が割合が低いのは、男性では「わからない」という回答が高いためであり、女性では「続けられないと思う」という回答が高いためである。女性は、介護が必要な親がいる場合、自身が介護を担う可能性について、男性よりも深刻に考えている可能性がある。
- ・ 仕事と介護を両立するために、働き方の変更を希望するかを聞いたところ、「変えたいと思う」との回答が、男性では、就労者・離職者ともに2割強、女性では5割程度となっている。女性の方が変更希望が高い。

10. 就業継続見込みと両立のための働き方の変更希望(1)

図表39 【就労者】仕事と介護を両立した就業継続の見込み

【男性】

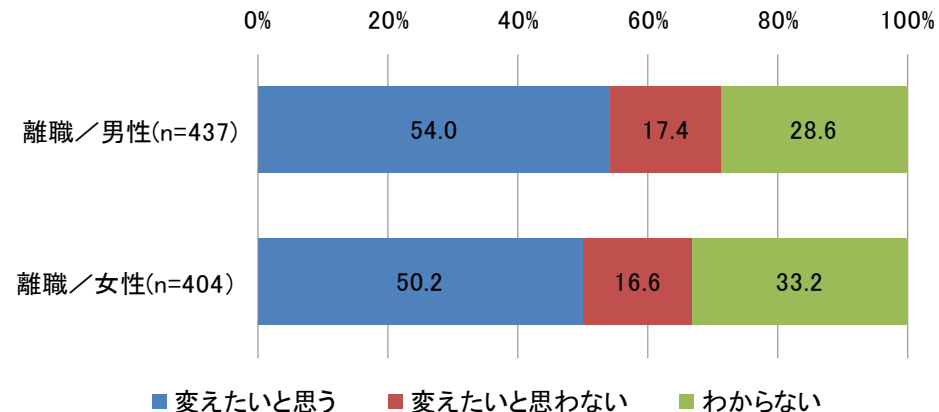
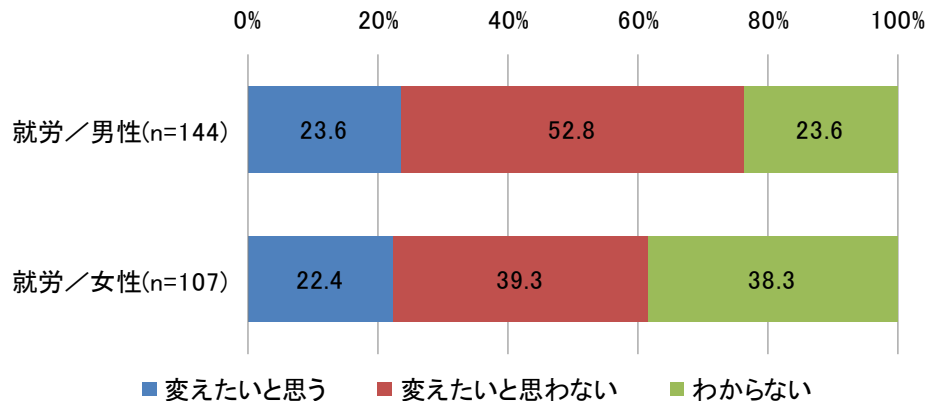
【女性】



図表40 【介護している】仕事と介護を両立した就業継続のための働き方の変更希望

【就労者】

【参考：離職者】



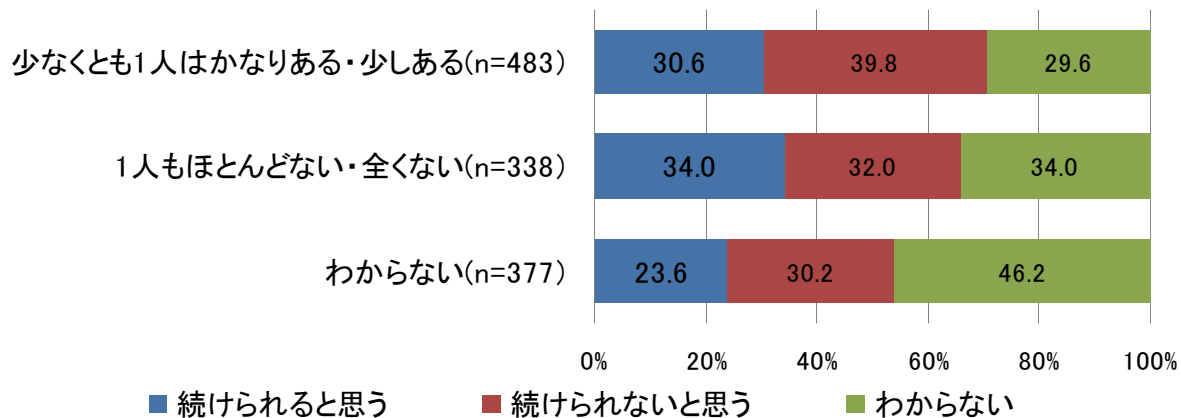
注：「離職者」については、離職前に介護をしていた状況での希望を聞いている。

10. 就業継続見込みと両立のための働き方の変更希望(2)

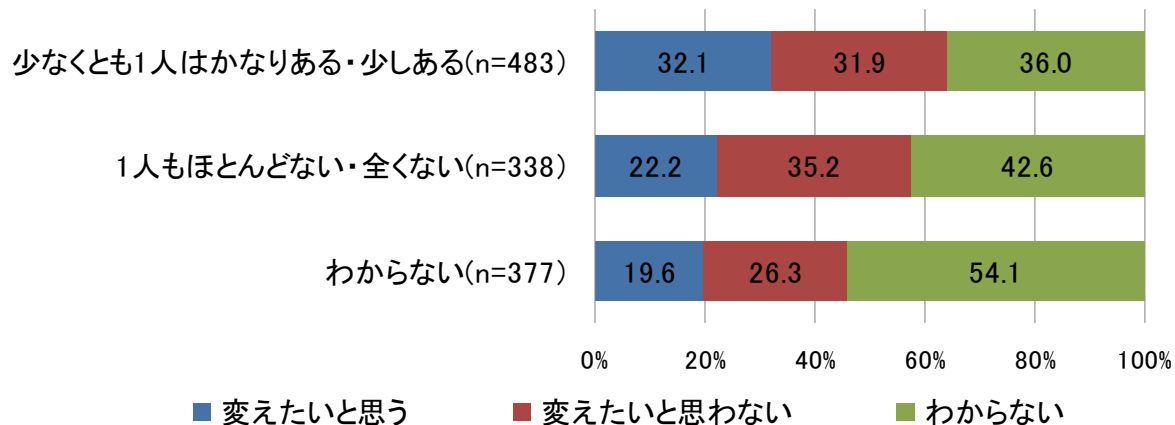
- ・ 現在、介護の必要な父母がいない就労者に、将来、介護を行うことになった場合の就業継続の可能性を聞いたところ、今後5年間に父母のうち「少なくとも1人は(介護が必要になる可能性が)ある」人については、「続けられると思う」の割合が30.6%、「1人もない」人では34.0%となっている。父母の介護の見込みについて「わからない」人がもっとも不安が強いようで就業継続見込みについても「わからない」という回答割合が高い。
- ・ 将来、介護を行う場合の働き方の変更については、今後5年間のうちに介護が必要となる父母が「少なくとも1人はある」人の方が「変えたいと思う」の割合が高い。

10. 就業継続見込みと両立のための働き方の変更希望(2)

図表41 【現在介護の必要な父母がいない就労者】将来、介護を行う場合の就業継続の可能性



図表42 【現在介護の必要な父母がいない就労者】将来、介護を行う場合の働き方の変更希望

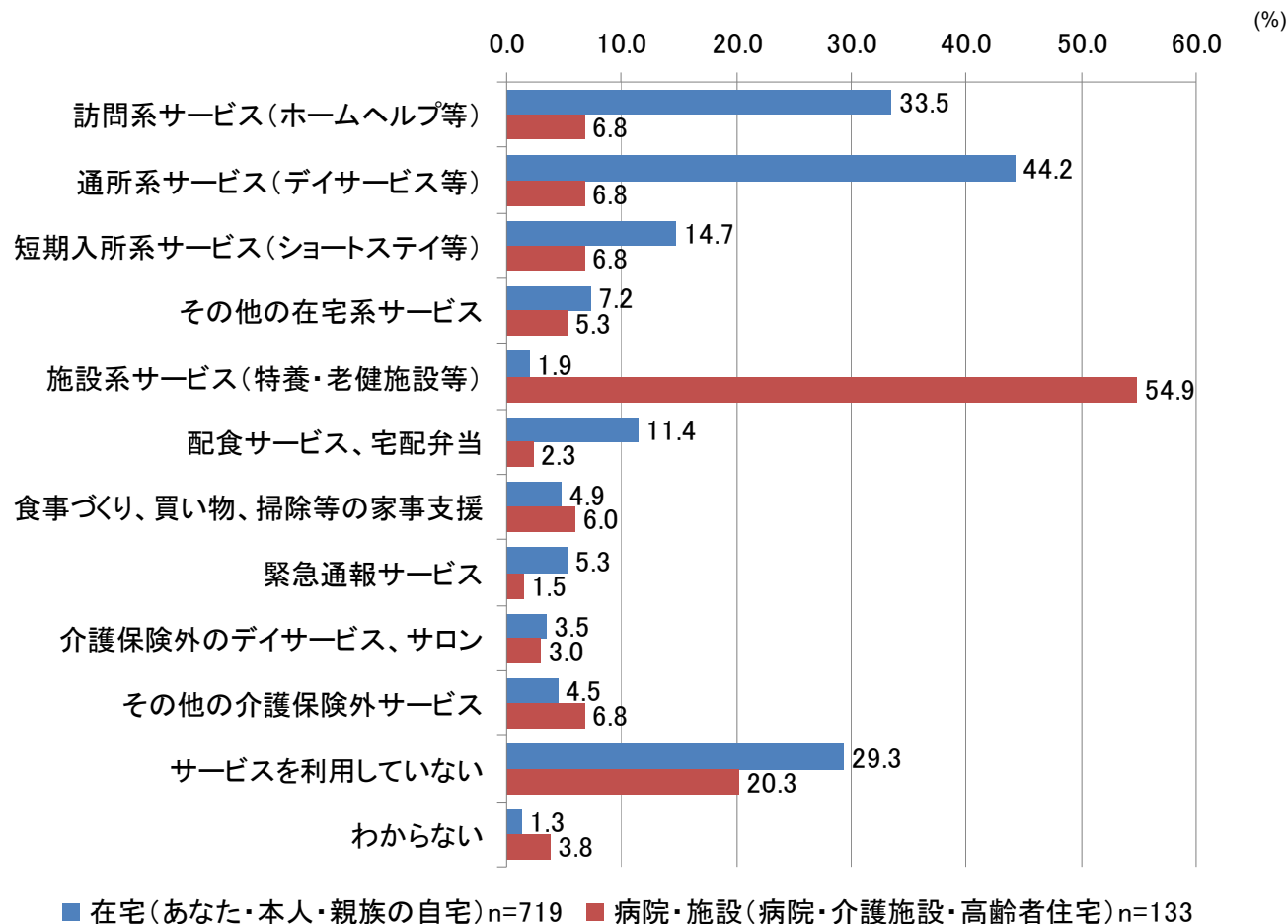


注: 自分の父母および配偶者の父母で、現在介護が必要ではない人について、「今後、5年間に手助け・介護が必要になる可能性」を聞き、その回答結果から、「少なくとも1人はかなりある・少しある」、「1人もほとんどない・全くない」、「わからない(すべての父母についてわからない)」の3つの層を抽出して集計した。

<参考>介護されている父母の状況別 介護状況

(1)在宅・施設別 ①

図表43 【1人の父母を介護】父母の居場所別利用している介護サービス



注1:「介護を必要とする父母が1人」で「1人の父母を介護している」回答者のみを対象として集計している。

注2:「就労者」と「離職者」が含まれる。「離職者」は、離職前の介護状況について聞いている。

(1)在宅・施設別 ②

図表44 【1人の父母を介護】父母の居場所別行っている介護の頻度 (件,%)

	合計	介護の頻度／全体				
		ほぼ毎日	週に2～4日	週に1日	月に1～3日	その他
全体（1人の親を介護）	858 100.0	442 51.5	181 21.1	86 10.0	66 7.7	83 9.7
在宅（あなた・本人・親族の自宅）	719 100.0	401 55.8	155 21.6	58 8.1	52 7.2	53 7.4
病院・施設（病院・介護施設・高齢者住宅）	133 100.0	37 27.8	26 19.5	28 21.1	14 10.5	28 21.1

図表45 【1人の父母を介護】父母の居場所別介護している人の勤務形態 (件,%)

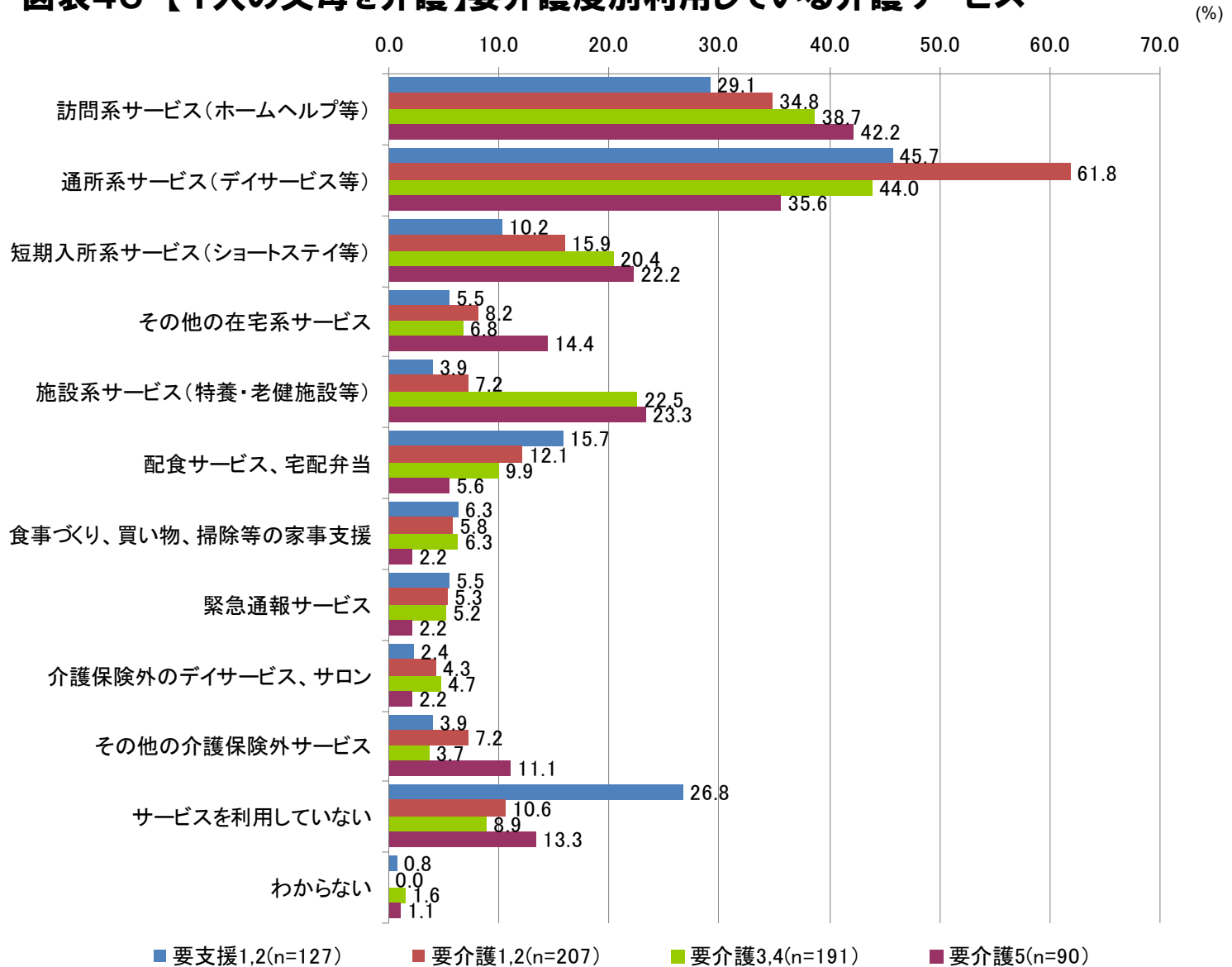
	合計	介護している人の勤務形態					
		フルタイムの通常勤務	フレックスタイム勤務	裁量労働制	在宅勤務	短時間勤務	その他
全体（1人の親を介護）	858 100.0	755 88.0	51 5.9	11 1.3	12 1.4	13 1.5	16 1.9
在宅（あなた・本人・親族の自宅）	719 100.0	632 87.9	43 6.0	9 1.3	11 1.5	11 1.5	13 1.8
病院・施設（病院・介護施設・高齢者住宅）	133 100.0	117 88.0	8 6.0	2 1.5	1 0.8	2 1.5	3 2.3

注1:「介護を必要とする父母が1人」で「1人の父母を介護している」回答者のみを対象として集計している。

注2:「就労者」と「離職者」が含まれる。「離職者」は、離職前の介護状況について聞いている。

(2)要介護度別 ①

図表46 【1人の父母を介護】要介護度別利用している介護サービス



注1:「介護を必要とする父母が1人」で「1人の父母を介護している」回答者のみを対象として集計している。

注2:「就労者」と「離職者」が含まれる。「離職者」は、離職前の介護状況について聞いている。

(2)要介護度別 ②

図表47 【1人の父母を介護】要介護度別行っている介護の頻度

(件,%)

	合計	手助・介護の頻度／全体				
		ほぼ毎日	週に2～4日	週に1日	月に1～3日	その他
全体（1人の親を介護）	858 100.0	442 51.5	181 21.1	86 10.0	66 7.7	83 9.7
申請していない・非該当	174 100.0	76 43.7	39 22.4	21 12.1	14 8.0	24 13.8
要支援1,2	127 100.0	54 42.5	36 28.3	14 11.0	13 10.2	10 7.9
要介護1,2	207 100.0	112 54.1	42 20.3	22 10.6	16 7.7	15 7.2
要介護3,4	191 100.0	115 60.2	33 17.3	17 8.9	10 5.2	16 8.4
要介護5	90 100.0	61 67.8	11 12.2	5 5.6	4 4.4	9 10.0
わからない・申請中	69 100.0	24 34.8	20 29.0	7 10.1	9 13.0	9 13.0

図表48 【1人の父母を介護】要介護度別介護している人の勤務形態

(件,%)

	合計	介護している人の勤務形態					
		フルタイムの通常勤務	フレックスタイム勤務	裁量労働制	在宅勤務	短時間勤務	その他
全体（1人の親を介護）	858 100.0	755 88.0	51 5.9	11 1.3	12 1.4	13 1.5	16 1.9
申請していない・非該当	174 100.0	160 92.0	6 3.4	0 0.0	2 1.1	1 0.6	5 2.9
要支援1,2	127 100.0	113 89.0	8 6.3	2 1.6	1 0.8	1 0.8	2 1.6
要介護1,2	207 100.0	180 87.0	17 8.2	0 0.0	2 1.0	3 1.4	5 2.4
要介護3,4	191 100.0	158 82.7	13 6.8	7 3.7	5 2.6	5 2.6	3 1.6
要介護5	90 100.0	85 94.4	3 3.3	0 0.0	1 1.1	0 0.0	1 1.1
わからない・申請中	69 100.0	59 85.5	4 5.8	2 2.9	1 1.4	3 4.3	0 0.0

注1:「介護を必要とする父母が1人」で「1人の父母を介護している」回答者のみを対象として集計している。

注2:「就労者」と「離職者」が含まれる。「離職者」は、離職前の介護状況について聞いている。